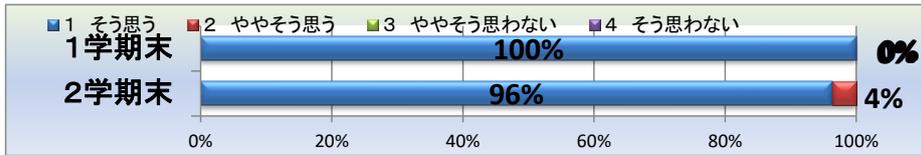


令和 7 年度 学校評価（教職員）

I 学校教育目標・学校経営について

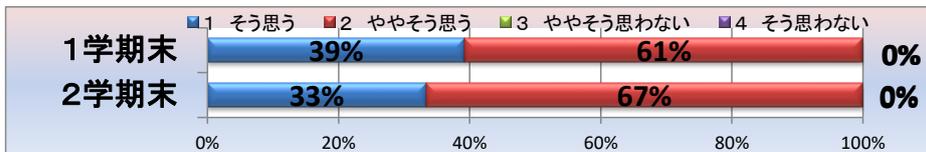
設問 I-① 学校経営方針は、学校教育目標を踏まえたものになっている。



設問 I-② 学年の教育活動計画が、教育目標や学校経営の重点を踏まえたものになっている。



設問 I-③ 職場の福利厚生や健康管理に配慮がなされている。



設問 I-④ あなたは、学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。



設問 I-⑤ あなたは、学校職員間のコミュニケーションを十分にとりながら、職務に取り組んでいる。



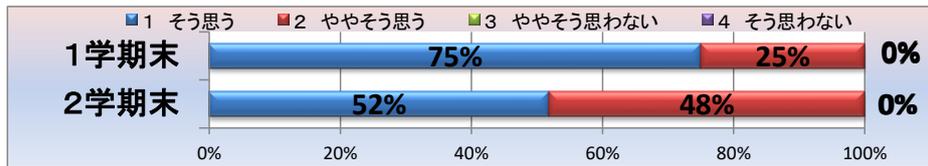
考察

Iの項目については、全般的に1学期の高水準から準高水準に推移した感がある。特に②学年の教育活動計画と④経営方針に基づいた教育活動の2点にその推移が現れている。各個人が常に自問自答しながら自らに厳しい評価を課しつつ目標に向かって教育活動に臨んでいると肯定的に捉えたい。②の理由記述の抱き合わせ教科については、各々の教科の授業進度を見据えながらその実施授業の調整を各学年で行っていただきたい。

また、③福利厚生や健康管理については、「ややそう思う」が昨年度も本年度の1学期とも同様の約6割であった。県教委の示す働き方改革の方針に則って、職務の遂行と健康維持管理のバランスを探っていく必要がある。

II 学校運営について

設問II-① あなたは、危機管理（防災，防犯等）マニュアルを理解している。



設問II-② あなたは、働き方改革を意識して仕事を進めている。



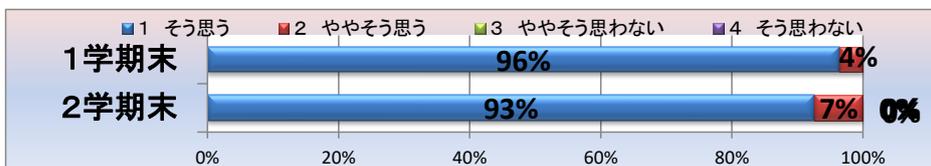
設問II-③ あなたの校務分掌は、学校運営上、機能している。



設問II-④ あなたは、諸会議（職員会議・校内研）に積極的に関わっている。



設問II-⑤ あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動に当たっている。



設問II-⑥ あなたは、職務上の「報告・連絡・相談・確認」を行っている。



考察

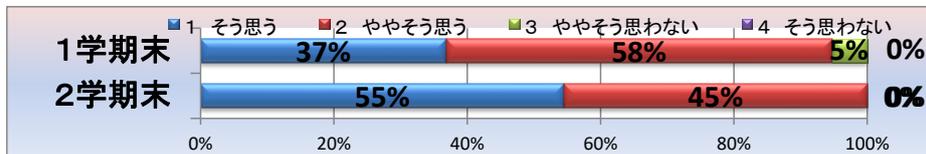
②働き方改革の意識は、今学期飛躍的に数値が上昇し、多くの方々が常日頃意識して仕事に臨まれていることがうかがえる。学校長の示した日課表の変更などの具体策に職員がその効果を実感したこともその理由といえるだろう。①危機管理の理解と③自分の校務分掌の機能「そう思う」の2点が数値が下がっていることが分かった。これを機会に危機管理に対する再確認を全職員で進めて行きたい。また各自が担っている業務について働き方改革も加味しながらより良い方向を模索すると共に、機能するように努めていきたい。

Ⅲ 学習指導について

設問Ⅲ-① あなたは、民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている。



設問Ⅲ-② あなたは、山梨スタンダードを取り入れた授業を行っている。



設問Ⅲ-③ あなたは、ICTを効果的に活用した授業を行っている。



設問Ⅲ-④ あなたは、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をめざした授業の構築に取り組んでいる。



設問Ⅲ-⑤ あなたは、指導と評価の一体化をめざした授業を行っている。



設問Ⅲ-⑥ 思考力、判断力、表現力をはぐくむため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。



設問Ⅲ-⑦ あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。



設問Ⅲ-⑧ あなたは、食育、健康・安全に対する指導を行っている。



考察

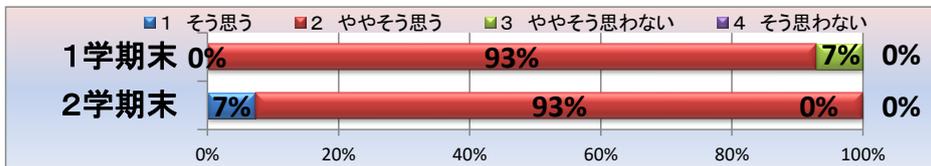
1学期と同様に今学期も高水準と準高水準に項目の数値が顕著に分かれる感がある。意識はしているけれども、胸を張って「そう思う」を選ぶには至らない我々の謙虚さの現れなのだと思う。各個人での実践や校内研究の反省に基づいた課題解決に向けて引き続き継続していただきたい。

Ⅳ 生徒指導について

設問Ⅳ-① 本校の児童は、進んであいさつをしている。



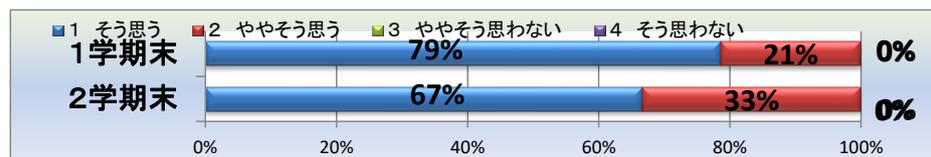
設問Ⅳ-② 本校の児童は、トイレのスリッパやはきものをそろえることに取り組んでいる。



設問Ⅳ-③ 本校の児童は、無言清掃に取り組んでいる。



設問Ⅳ-④ 本校は、職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている。



設問Ⅳ-⑤ 本校は、児童の健全育成のために、学校・保護者・地域及び関係機関との連携が図られている。



設問Ⅳ-⑥ あなたは、すべての子どもたちに対し、特別支援教育の視点を持った指導・支援をしている。



設問Ⅳ-⑦ あなたは、児童理解のために、児童・家庭・関係職員とのコミュニケーションを図っている。



設問Ⅳ-⑧ あなたは、児童の規範意識をはぐむ指導に取り組んでいる。



設問Ⅳ-⑨ あなたは、生き方教育（キャリア教育、勤労・職業教育など）を児童の実態に応じて行っている。



設問Ⅳ-⑩ あなたは、問題行動（いじめ、不登校等）の早期発見・早期対応ができています。



考察

あいさつ・履き物揃え・無言清掃の3点は、2学期は少数であるが「そう思う」を選んだ職員がおり、徐々に取り組みが浸透し始めていることを実感できた。これからも、自分の所有物で無くても誰もが(当然、自分も)使う物だから適切に扱い、全員の共通理解のもとで決めたルールを守り、実行する児童を育成したい。また、教師が進んで手本を示して実践している児童を大いに認める等の地道な積み重ねを継続していく必要があるだろう。

V 地域との連携

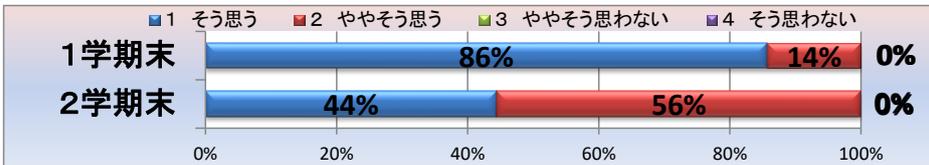
設問V-① 本校は、教育活動の中に地域の人材や施設を活用した指導を行っている。



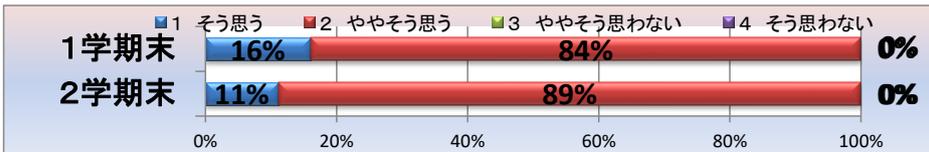
設問V-② 本校は、学校の教育活動について、たよりやブログ・メールなどを通して広報している。



設問V-③ 地域や保護者は、児童の安全確保に努めている。



設問V-④ 保護者は、学習指導や生活指導に協力的である。



考察

1学期と同様に、我々は積極的に地域人材を教育活動に活用し、各種「便り」やブログを駆使して積極的に情報を発信しているという高い意識を持っている。ホームページが新しく刷新され、ブログ等の活用をすることで、より真価を発揮することになるであろう。④については保護者・地域への情報発信を丁寧に行い共通理解を図ると共に、協力を仰いでいく必要がある。

VI 学校の特色について

設問VI-① あなたは、図書館や情報機器などの有効活用を通して、情報活用能力の育成を図っている。



設問VI-② あなたは、オープンスペースを活かした学習指導に努めている。



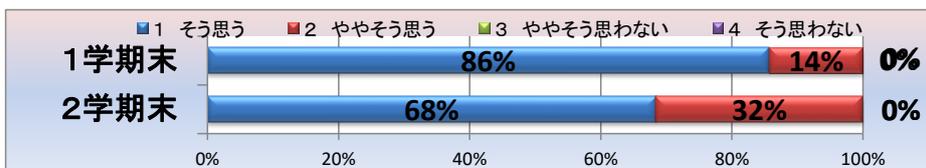
設問VI-③ あなたは、外国語活動や国際理解協力の充実を図り、異文化を理解し尊重する態度を育成している。



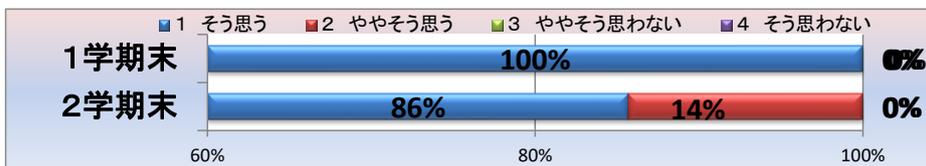
設問VI-④ あなたは、思いやりなど豊かな心の育成のために道徳指導の充実に努めている。



設問VI-⑤ あなたは、児童の体力の向上及び健康の保持増進の指導に努めている。



設問VI-⑥ あなたは、体験的な活動を取り入れた学習指導に努めている。



考察

2学期も1学期と同様に児童への情報活用能力の育成に戸惑いを感じている傾向がある。どの学びの場面でその力を育ませるかを念頭に置き指導する必要がある。有効な使用法を職員間で手軽に紹介し合える手段の時間を設けるなどして、これからも現状に満足せず、日々切磋琢磨する教職員集団を目指していきたい。

1 児童アンケート集計結果と考察

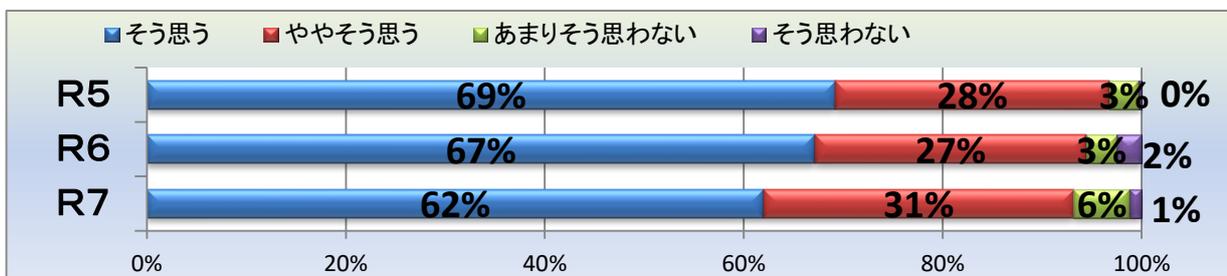
回答率:98%(337人/343人)

全体を通して

全体的に肯定的な評価が多かった。ただ、設問1「学校が楽しい」について、93%の児童が肯定的な回答であり、児童の多くが楽しく安心して学校生活を過ごしていることがわかる。ただ、昨年度に比べると肯定的な回答の中でも若干B評価が増えたり、7%の児童が否定的な回答をしていたりする現実がある。また、その他の回答でも、肯定的な回答が減っていたり、D評価が見られるようになったりといった設問も若干見られる。学校生活において、少なからず課題を感じている児童がいる現実を受け止め、今後も職員全員で指導の共通理解を図り、全校児童を見守り、声をかけ、さらに安心感のある学校生活へと支援していきたい。

設問1 学校の生活は、楽しいと思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	234	93	10	1
R6	217	88	10	8
R7	209	105	19	4



[学校での学習に関して]

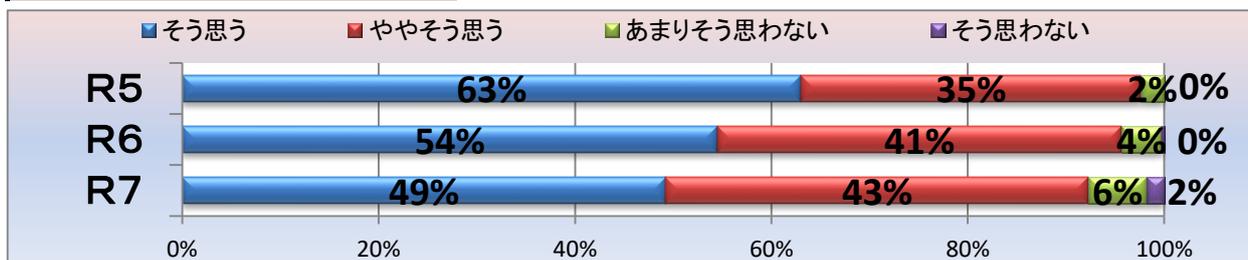
学校での学習・授業について（設問2～7）

○今、教育に求められているのは、自立した学習者を育成することである。そのための個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実であり、児童自身の自己調整の促しである。この1年間、本校でも校内研究会で「自ら学び、考え、表現できる児童の育成～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を通して～」について研究を深めてきた。研究主任を中心に、今、どのような授業づくりが求められているのかを全職員で考え、実践を積み重ね、互いに見合う中で個々の授業力を高めてきた。まだ研究半ばであるが、いずれの学年でも生き生きと学習に取り組む児童の姿が見られた。今回のアンケート結果は、これら教師の取り組み方も反映されていると感じる。改善している点を考察し、今後のよりよい授業を模索したい。

設問2 学校で勉強したことが、よく分かると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	213	117	8	0
R6	176	133	13	1
R7	166	145	20	6

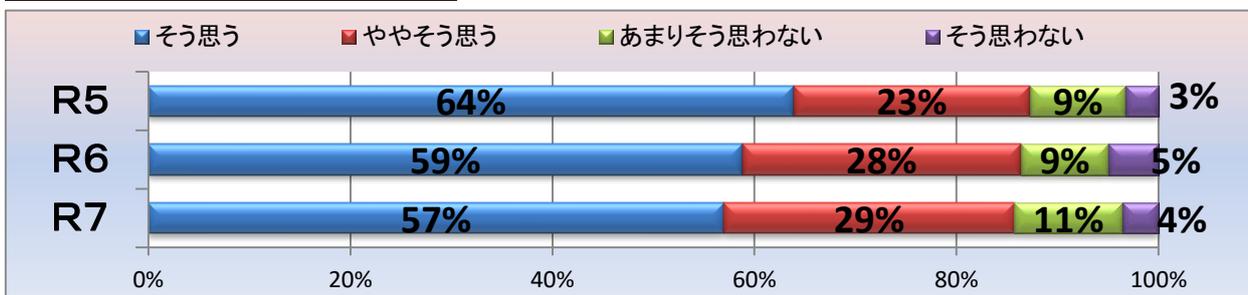
(人)



設問3 授業中、分からないことがあると、先生や友達に教えてもらっていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	216	79	32	11
R6	190	89	28	16
R7	192	97	36	12

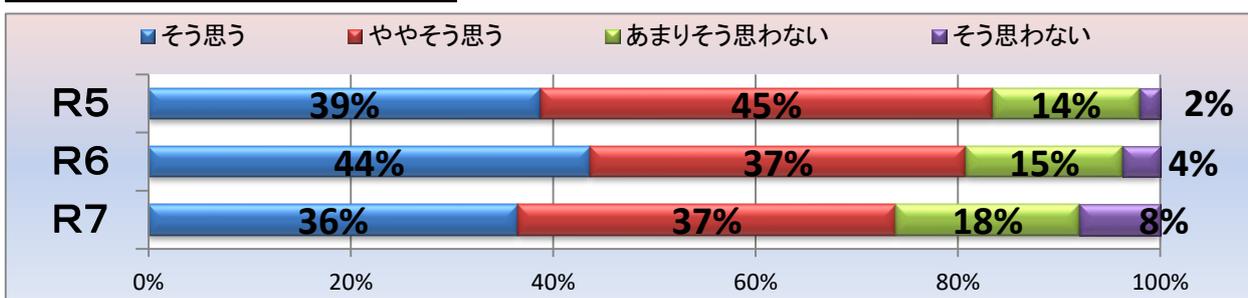
(人)



設問4 授業中、ノートをていねいに書いていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	131	151	49	7
R6	141	120	50	12
R7	123	126	61	27

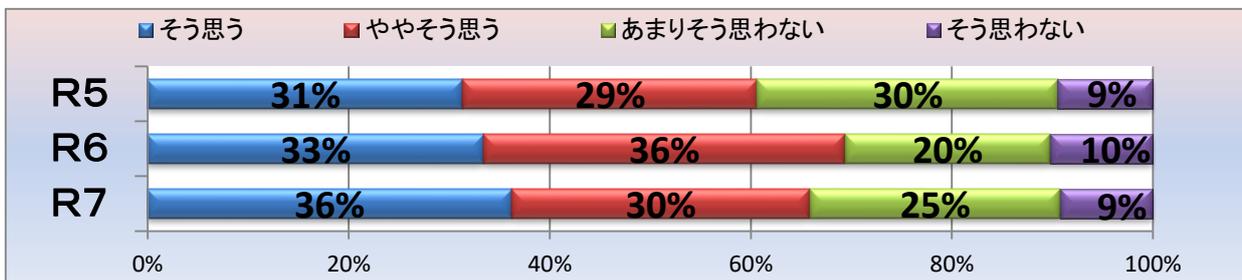
(人)



設問5 授業中、自分の考えを進んで発表していると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	106	99	101	32
R6	108	116	66	33
R7	122	100	84	31

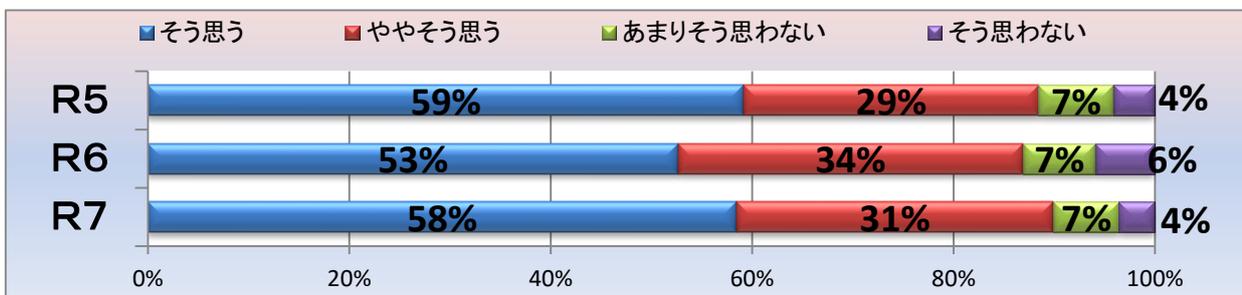
(人)



設問6 授業では、友達と話し合う活動や互いに教え合う活動をしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	200	99	25	14
R6	169	110	23	19
R7	197	106	22	12

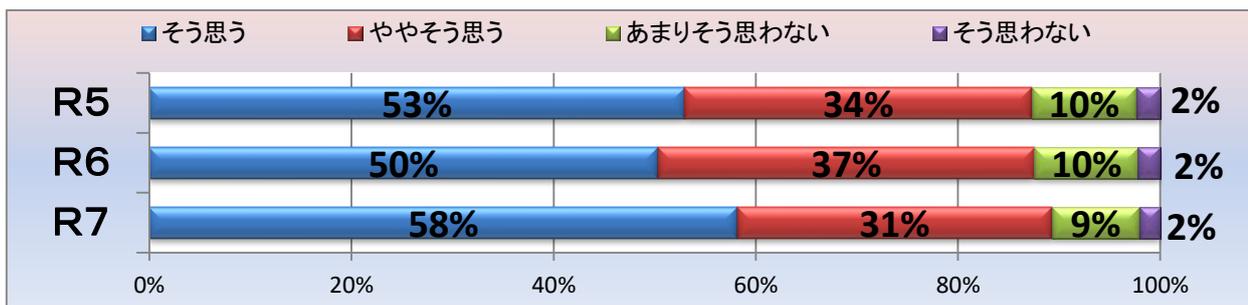
(人)



設問7 今年は、去年よりも進んで勉強するようになったと思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	179	116	35	8
R6	162	120	33	7
R7	196	105	29	7

(人)



考察

- ・設問2「学校で学習したことがよくわかるか」については、95%の児童が肯定的な回答であり、多くはその児童なりに理解できている。8%の否定的な回答をしている児童を含めて全児童を大切にするために、今後も教師が教えることに向き合い、学習支援担当との連携を深め、個別最適な学習のうち指導の個別化を進めることで誰も取り残さない学びを実現していきたい。
- ・設問3「分からないことを友達や先生に教えてもらっている」では、肯定的な回答が多かった。協働的な学びを授業の中で積極的に取り入れ、学びあいの風土をつくってきた成果であると感じる。協働的な学びの本質が、答えを教えあうことではなく「児童がより良い考えに気づくこと」であることを共通理解し、今後も協働的な学びのスタイルを取り入れてしていきたい。
- ・設問4「ノートを丁寧に書いている」の回答結果について、ICT機器を使う場面が非常に増え、それまで紙のノートやワークシートに書くことを基本としていたが、一人一台端末内のシートにメモしたり書き込んだりする場面が非常に多くなった。紙や端末内にかかわらず、シートに書くことをしっかりと指導すること、また紙のノートへの書き方の指導を継続すること、この2点に気を配っていききたい。
- ・設問5「授業中、自分の考えを発表している」について、否定的な回答の児童が34%おり、発表に対して意欲の低い児童がいることがわかる。ただ、設問6「話し合う活動や教えあう活動」については肯定的な回答が多いことから、協働的な学びを工夫する中で、話すことへの抵抗感とわかりやすく伝えるための表現力を育て、あらたまった場でも進んで発表できる意欲を育てることも必要であろう。
- ・設問7「進んで学習するようになった」については、肯定的な回答の中でもA回答が増えている。主体的な学びが実現されてきていることを感じる。引き続き児童が興味・関心をもつ課題を工夫し、取り組みへの主体性を引き出し、その結果を誉め、次につながる意欲へと高めていきたい。

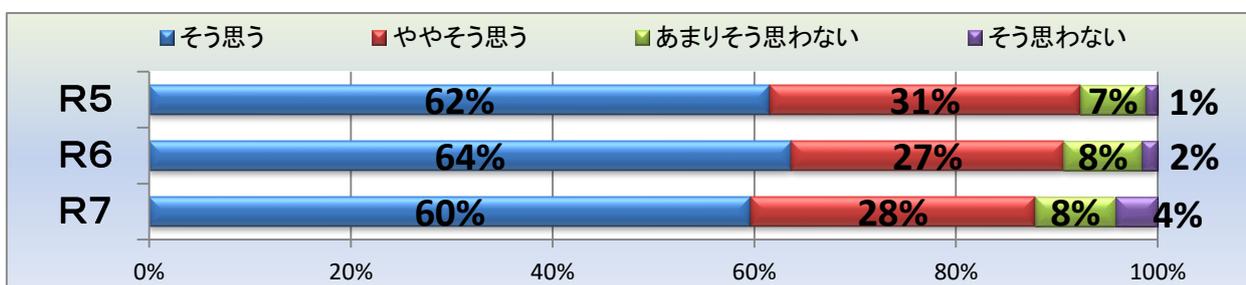
[家での学習に関して]

家での学習に関して（8～10）

○家庭での学習については肯定的な回答が多く、よく取り組んでいる。ただ、若干であれ否定的な回答が年々増えている現実を鑑みると、家庭と連携して家庭学習への取り組みを励まし習慣づけていく必要がある。

設問8 今年、去年よりも家庭学習の仕方が分かるようになったと思いますか。

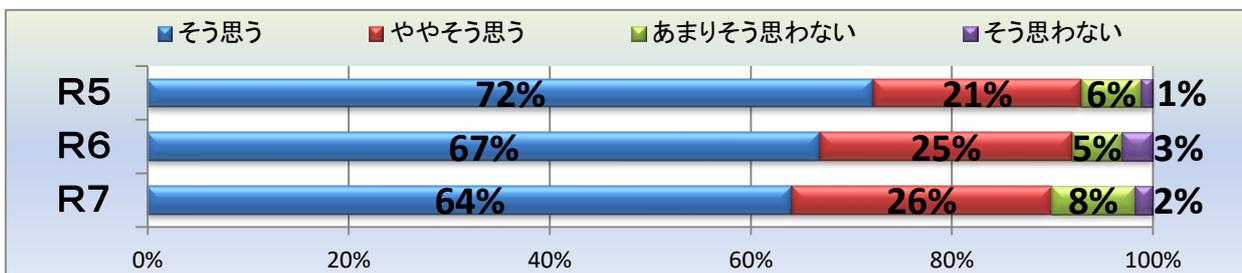
全校	1	2	3	4
R5	208	104	22	4
R6	205	87	25	5
R7	201	95	27	14



設問9 今年は、去年よりも宿題を忘れずにやってくるようになったと思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	244	70	20	4
R6	216	81	16	10
R7	216	87	28	6

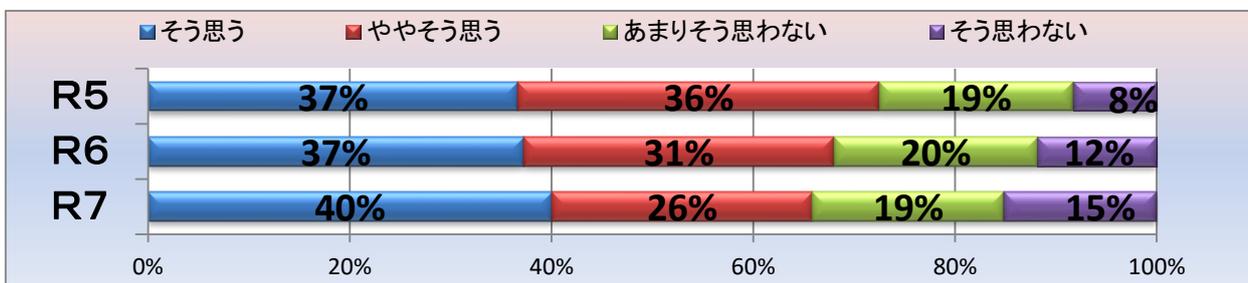
(人)



設問10 今年は、去年よりも家庭学習(宿題以外の学習)をしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	124	121	65	28
R6	120	99	65	38
R7	135	87	64	51

(人)



考察

- ・設問8「家庭学習の仕方がわかるようになった」、設問9「宿題を忘れずにやってくるようになった」については90%近くの児童が肯定的な回答である。ただ、否定的な回答が若干増えている現実が見られる。児童の実態に合った宿題を出し、家庭と連携してその取り組み方を評価していくことも大切にしていきたい。
- ・設問10「去年より(低学年は1学期より)宿題以外の家庭学習をしている」については、評価ごとの人数にばらつきがあることから、個人差が大きいと考える。下校後の生活の様子が異なり、一様に児童に期待することはできないが、特に高学年においては、自主勉強などを工夫させ、主体的な学びができるよう励ましていきたい。

[学校での生活に関して]

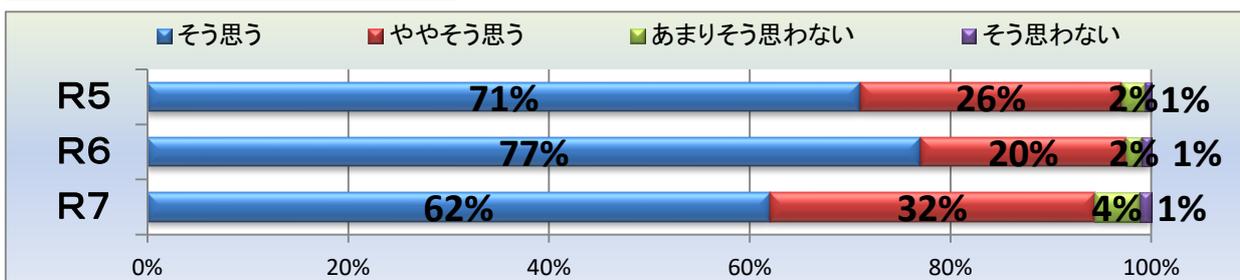
学校での生活に関して（11～20）

○全体的に肯定的な回答が多い。ただ、目の前の子供たちを見ると、生活様式や習慣が多様化し、集団における生活習慣の徹底が図られにくくなっている面が見られる。

設問11 学校のきまりや約束を守っていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	240	88	8	2
R6	248	66	5	3
R7	209	109	15	4

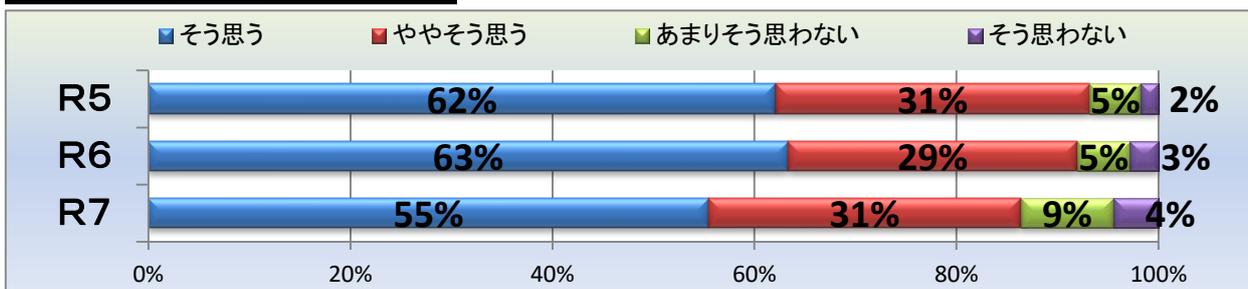
(人)



設問12 集団登下校を、きちんとしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	210	105	17	6
R6	204	92	17	9
R7	187	104	31	15

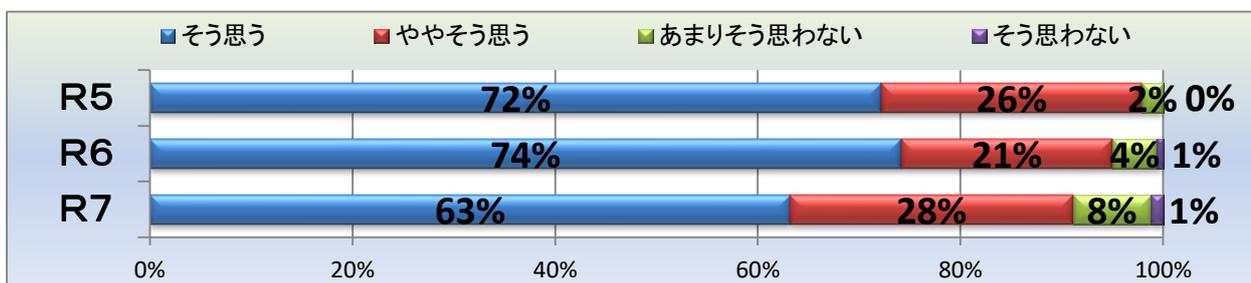
(人)



設問13 学校の中で、友達や先生、お客さんにあいさつをしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	244	87	7	0
R6	238	67	14	2
R7	213	94	26	4

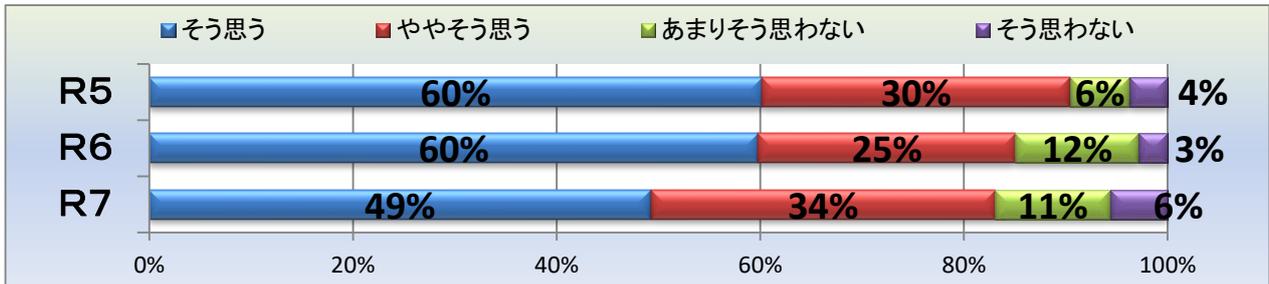
(人)



設問14 困ったことがあるときは、先生や友達に相談していると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	195	98	19	12
R6	192	81	39	9
R7	166	114	38	19

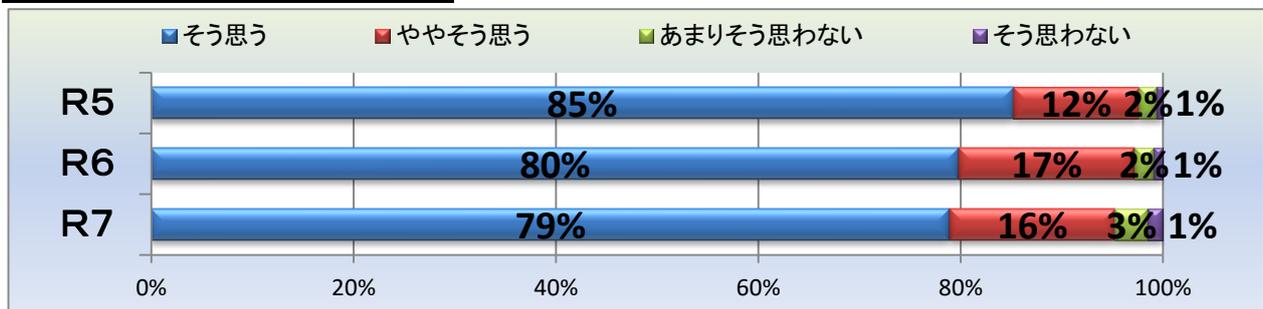
(人)



設問15 友達と仲良く勉強したり遊んだりしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	288	42	6	2
R6	257	56	6	3
R7	266	55	11	5

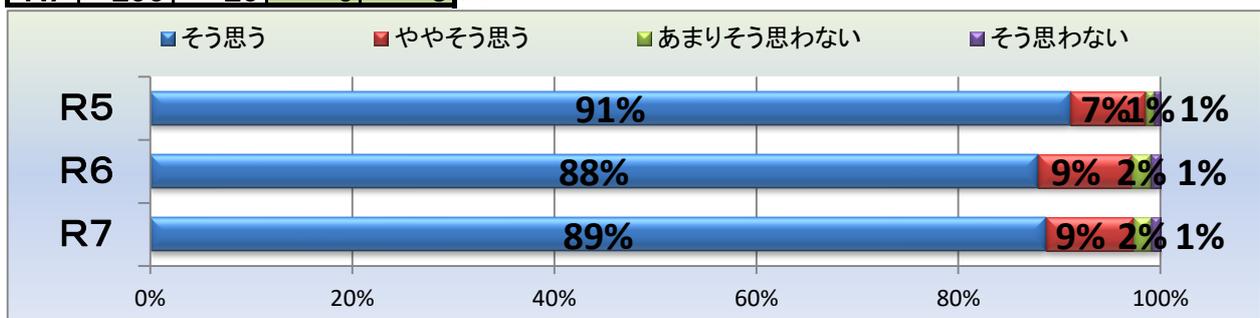
(人)



設問16 自分には、学校に仲良しの友達がいると思いますか。

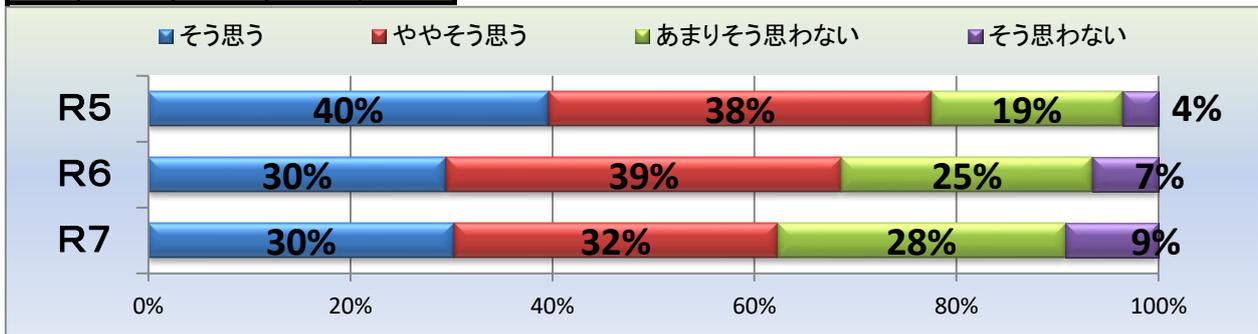
全校	1	2	3	4
R5	308	25	3	2
R6	283	30	6	3
R7	299	29	6	3

(人)



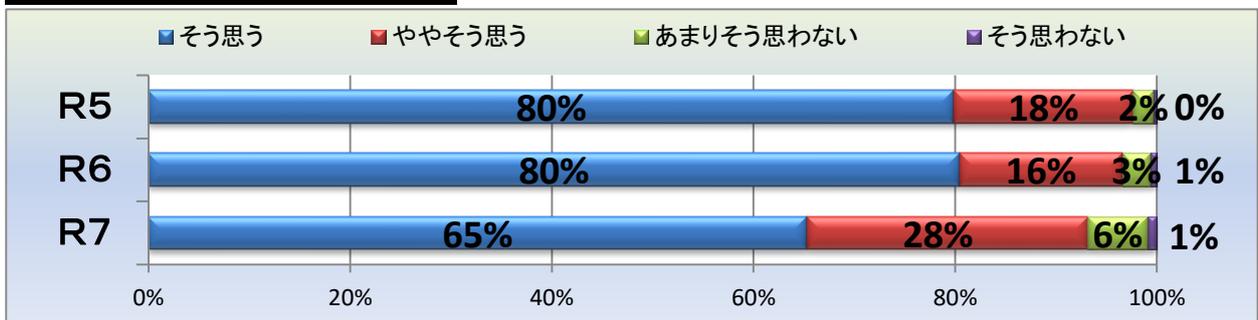
設問17 自分は、学校の図書館の本をよく借りて読んでいると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	134	128	64	12
R6	95	126	80	21
R7	102	108	96	31



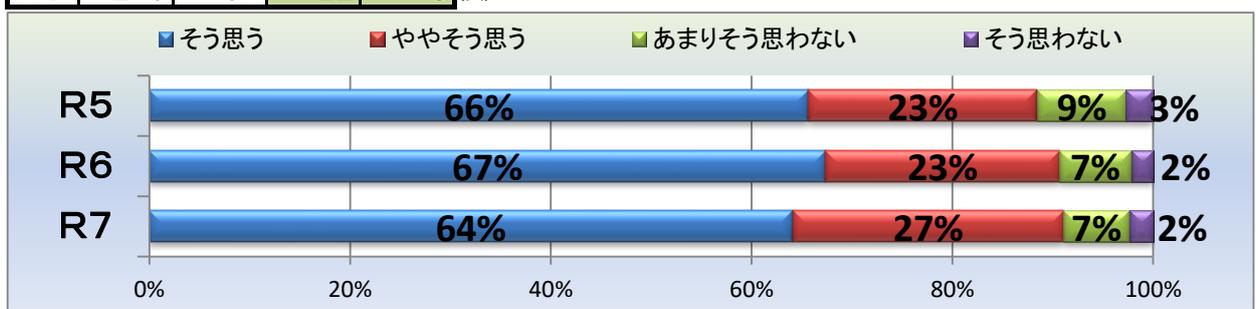
設問18 給食前の手洗い、食後の歯みがきをきちんとしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	270	60	7	1
R6	259	52	9	2
R7	220	94	20	3



設問19 給食を、楽しく残さず食べていると思いますか。

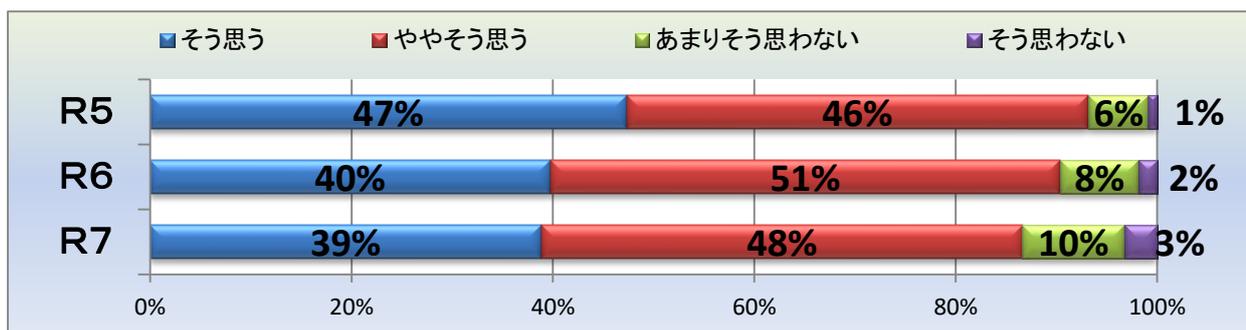
全校	1	2	3	4
R5	222	77	30	9
R6	217	75	23	7
R7	216	91	22	8



設問20 「無言清掃」が、きちんとできていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	160	155	20	3
R6	128	163	25	6
R7	131	161	34	11

(人)



考察

- ・設問11「学校のきまり」設問13「学校内でのあいさつ」設問18「給食前の手洗い，食後の歯磨きをきちんとしている」については肯定的な回答が多く，児童は学校の決まりをよくまもって，校内であいさつをしたり，手洗い・歯磨きなどをしたりしている。学校のきまりについては，今後も教職員で共通理解し，軽重や足並みのそろった指導を進めていくことを大切にしたい。
- ・友達に関しては，設問15「友達と仲良く」設問16「仲良しの友達がいる」から，友達とうまく人間関係を築けている児童が多いことがわかる。ただ，設問14「困ったことがあるときは，先生や友達に相談しているか」について，16%の児童が否定的な回答していることは見過ごせない。まず，担任や関わる職員が児童と悩みを相談できる人間関係をつくり，児童一人一人の様子を観察し，気になる児童についてはこちらから声をかけるようにすることなどを常態化する。また，特に気なる児童についてはスクールカウンセラーと連携し，専門的な立場からの関りと支援をいただけるようにしたい。
- ・設問12「登下校をきちんとしている」について，肯定的な回答が多い。ただ，実際には歩き方やバスの乗り方において課題も見られる。本校は学区が広く，登下校の方法も徒歩やお迎え，児童館利用，スクールバス利用など様々であるが，これからも各地区担当を中心に丁寧に登下校指導を行っていきたい。
- ・図書館では本の紹介や読書祭りのイベント，読み聞かせなど，児童会活動でも縦割り読書など，児童が本に興味をもつ活動を工夫している。ただ，設問17「図書館の本をよく借りて読んでいる」から，個人差が課題として挙げられる。各学級で図書館を利用する時間を設定したり，隙間時間に読書を進めたりするなどに努めたい。
- ・設問19「給食を楽しく残さず食べている」設問20「無言清掃をきていんとしている」については，いずれも多くの児童が肯定的な回答である。ただ，職員がともに活動する中で，給食メニューの好き嫌いや掃除の取り組みの丁寧さに個人差が見られるので，一人一人の課題に寄り添い，個別に声をかけ支援を進めたい。

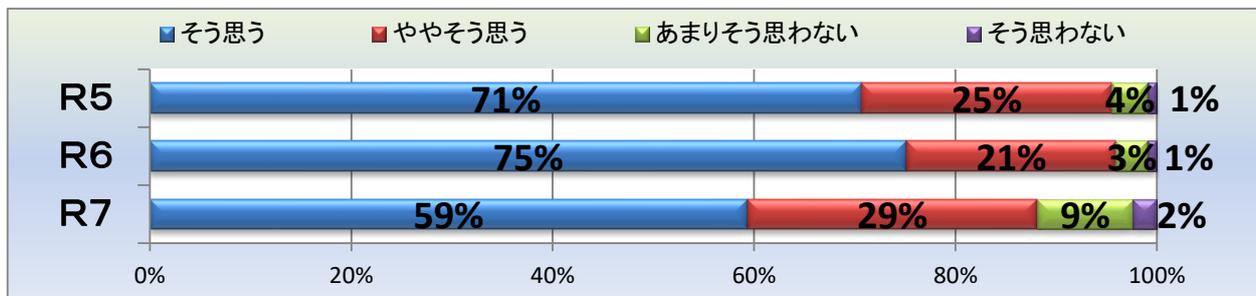
[家での生活に関して]

家庭での生活に関して (21~25)

○児童の生活が多様化・個別化している現実が見られる。家庭の態様や考え方が大きく反映されていることが多いが、学校としては児童の心と体の健康を第一に、家庭でもその子なりの成長の図れる過ごし方について連携していきたい。

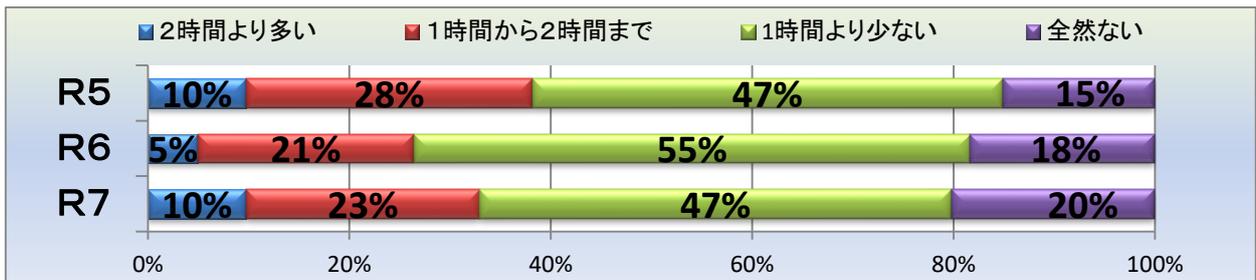
設問21 家族や地域の人に、きちんとあいさつをしていると思いますか。

全校	1	2	3	4
R5	239	84	12	3
R6	242	67	10	3
R7	200	97	32	8



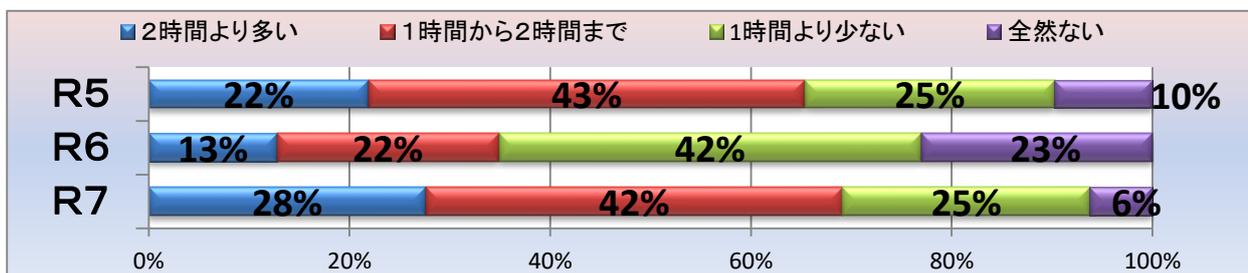
設問22 家や学校で読書をする時間は、1日にどのくらいありますか。(学校が休みの日を除く)

全校	1	2	3	4
R5	33	96	158	51
R6	16	69	178	59
R7	33	78	158	68



設問23 家でテレビやYouTubeなどを見る時間は、1日にどのくらいありますか。(学校が休みの日を除く)

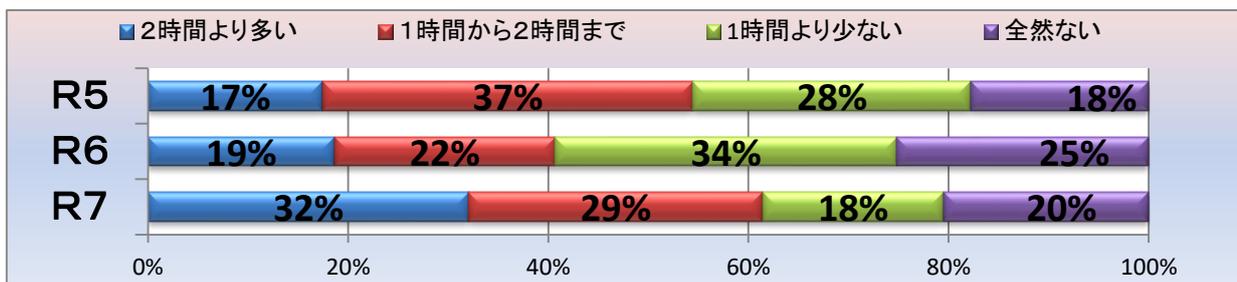
全校	1	2	3	4
R5	74	147	84	33
R6	41	71	135	74
R7	93	140	83	21



設問24 家でパソコンやゲーム機を使う時間は、1日でどのくらいありますか。(学校が休みの日を除く)

全校	1	2	3	4
R5	59	125	94	60
R6	60	71	110	81
R7	108	99	61	69

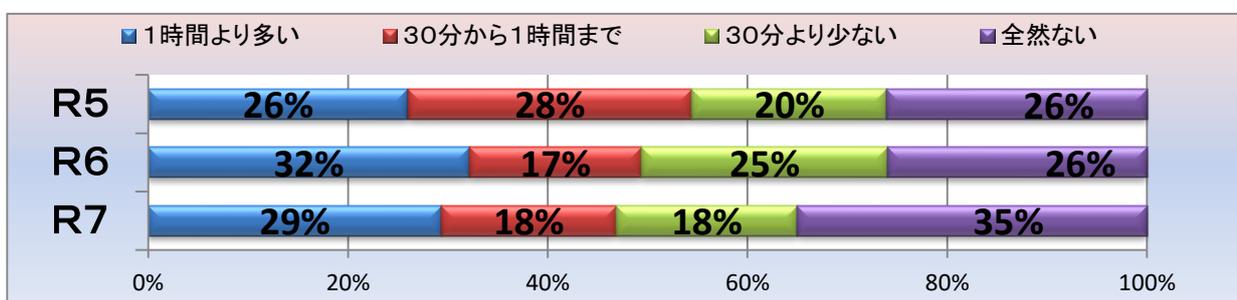
(人)



設問25 下校した後に外で遊ぶ時間は、1日にどのくらいありますか。(学校が休みの日を除く)

全校	1	2	3	4
R5	88	96	66	88
R6	103	55	79	83
R7	99	59	61	118

(人)



考察

- ・家庭での読書する時間は・設問23「テレビやユーチューブなどを見る時間」設問24「パソコンやゲーム機を使う時間」はともに、使う時間が増えている。気軽に一人で楽しい時間を過ごすことができるアイテムである。ただ、健康上の問題やメディアリテラシーの問題などがあるため、その使い方については児童に指導するとともに、家庭にもルールを設けた使い方の協力をお願いする必要がある。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	69%	28%	3%	0%
R6	67%	27%	3%	2%
R7	62%	31%	6%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	63%	35%	2%	0%
R6	54%	41%	4%	0%
R7	49%	43%	6%	2%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	64%	23%	9%	3%
R6	59%	28%	9%	5%
R7	57%	29%	11%	4%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	39%	45%	14%	2%
R6	44%	37%	15%	4%
R7	36%	37%	18%	8%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	31%	29%	30%	9%
R6	33%	36%	20%	10%
R7	36%	30%	25%	9%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	59%	29%	7%	4%
R6	53%	34%	7%	6%
R7	58%	31%	7%	4%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	53%	34%	10%	2%
R6	50%	37%	10%	2%
R7	58%	31%	9%	2%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ ない	そう思わない
R5	62%	31%	7%	1%
R6	64%	27%	8%	2%
R7	60%	28%	8%	4%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	72%	21%	6%	1%
R6	67%	25%	5%	3%
R7	64%	26%	8%	2%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	37%	36%	19%	8%
R6	37%	31%	20%	12%
R7	40%	26%	19%	15%

・家庭での読書する時間は「ゲーム機を使う時間」はとできるアイテムである。た
い方については児童に指導
がある。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	71%	26%	2%	1%
R6	77%	20%	2%	1%
R7	62%	32%	4%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	62%	31%	5%	2%
R6	63%	29%	5%	3%
R7	55%	31%	9%	4%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	72%	26%	2%	0%
R6	74%	21%	4%	1%
R7	63%	28%	8%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	60%	30%	6%	4%
R6	60%	25%	12%	3%
R7	49%	34%	11%	6%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	85%	12%	2%	1%
R6	80%	17%	2%	1%
R7	79%	16%	3%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	91%	7%	1%	1%
R6	88%	9%	2%	1%
R7	89%	9%	2%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	40%	38%	19%	4%
R6	30%	39%	25%	7%
R7	30%	32%	28%	9%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	80%	18%	2%	0%
R6	80%	16%	3%	1%
R7	65%	28%	6%	1%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	66%	23%	9%	3%
R6	67%	23%	7%	2%
R7	64%	27%	7%	2%

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R5	47%	46%	6%	1%
R6	40%	51%	8%	2%
R7	39%	48%	10%	3%

	そう思う	ややそう思う	あまりでつ思わ ない	そう思わない
R5	71%	25%	4%	1%
R6	75%	21%	3%	1%
R7	59%	29%	9%	2%

	2時間より多い	1時間から2時間 まで	1時間より少ない	全然ない
R5	10%	28%	47%	15%
R6	5%	21%	55%	18%
R7	10%	23%	47%	20%

	2時間より多い	1時間から2時間 まで	1時間より少ない	全然ない
R5	22%	43%	25%	10%
R6	13%	22%	42%	23%
R7	28%	42%	25%	6%



	2時間より多い	1時間から2時間 まで	1時間より少ない	全然ない
R5	17%	37%	28%	18%
R6	19%	22%	34%	25%
R7	32%	29%	18%	20%

	1時間より多い	30分から1時間 まで	30分より少ない	全然ない
R5	26%	28%	20%	26%
R6	32%	17%	25%	26%
R7	29%	18%	18%	35%

・設問23「テレビやユーチューブなどを見る時間」設問24「パソコンや
ゲームにも、使う時間が増えている。気軽に一人で楽しい時間を過ごすことが
多いため、健康上の問題やメディアリテラシーの問題などがあるため、その使
用するとともに、家庭にもルールを設けた使い方の協力をお願いする必要

2 保護者アンケート集計結果と考察

回答率 本年度:87.4%(228世帯/261世帯)

全体を通して

すべての項目で肯定的な回答が90%以上であり、保護者の多くは学校経営を評価し、信頼をよせていただいていることが分かる。ただ、否定的な回答があることも認識し、その理由の一つ一つに耳を傾け、改善すべき点については真摯に取り組んでいきたい。そして、児童のより良い成長のために保護者と足並みのそろった学校運営を行っていきたい。

[学校教育目標と経営方針]

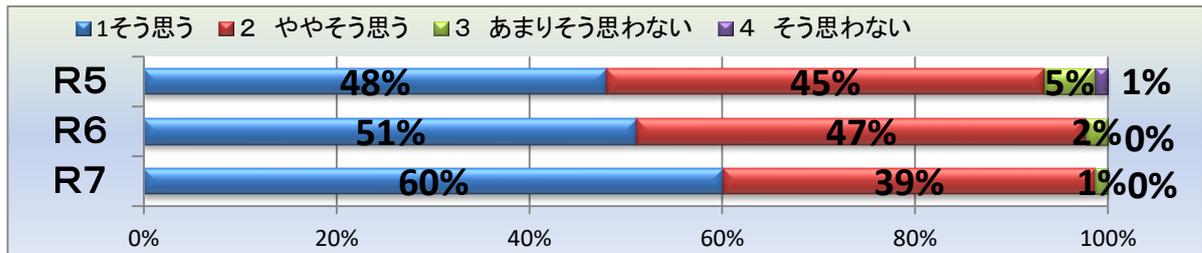
学校教育目標と学校経営（設問1）

◎肯定的な回答が99%であり、ほとんどの保護者が北東小学校の学校教育の方向性を理解し、同じ方向を向いて児童に向き合っていただいていることがわかる。それぞれの内容についてのお知らせの仕方については、PTA行事などでの校長による説明、ホームページの活用、学校運営協議会を通じた説明、学校行事で関わりのある内容への紐づけなど、様々に工夫し、より保護者に浸透するように工夫したい。

設問1 学校は、教育目標や経営方針を保護者に知らせ、信頼される学校づくりに取り組んでいる。

全校	1	2	3	4
R5	109	103	12	3
R6	111	101	5	0
R7	137	88	3	0

(人)



設問1 学校は、教育目標や経営方針を保護者に知らせ、信頼される学校づくりに取り組んでいる。

A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にしっかりと年度当初に示していると感じます。 PTA 総会や学年総会で説明していただけるから お知らせがこまめにいただけるのと、内容にミスがないため。 行事やその他の重要事項についても書面等で説明がなされているから 必ず通知も来るので1日の様子や特記事項は必ず教えてくれ、安心した学校生活を送れています。 校長先生のリーダーシップのもと、取り組みをなさっている様子が、様々な場面で感じることができるから。 担任の先生には、きめ細やかに生活指導・学習指導をいただいております。6年生になってもなお、今日の学校でこんな楽しいことがあったと毎日のように報告してくれます。感謝しかありません。組立体操も今年も素晴らしい演技で感動致しました。涙なくしては見られなかったです。 お便りをこまめに配信していて、信頼される学校づくりに取り組んでいると思います。
B	<ul style="list-style-type: none"> 新日課時間の試行についてはもう少し早く教えていただきたかったです。 密に取れているとまではいかないと感じます。
C	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標や経営方針があり周知するのは当たり前のことであって、信頼される学校づくりへの取組は他の活動から評価されるものだと思う。 教育目標や経営方針を耳にすることがあまりないから。 ・よくわからないから

学校より

★保護者や地域の皆さんと同じ方向を向いて児童を指導・支援していくことがより良い教育につながると考えます。教育目標や学校経営方針については、これまで同様、共通理解が図られるよう、PTA総会で丁寧の説明させていただくとともに、折に触れてお伝えできるよう気を配っていきます。

[学校の教育活動]

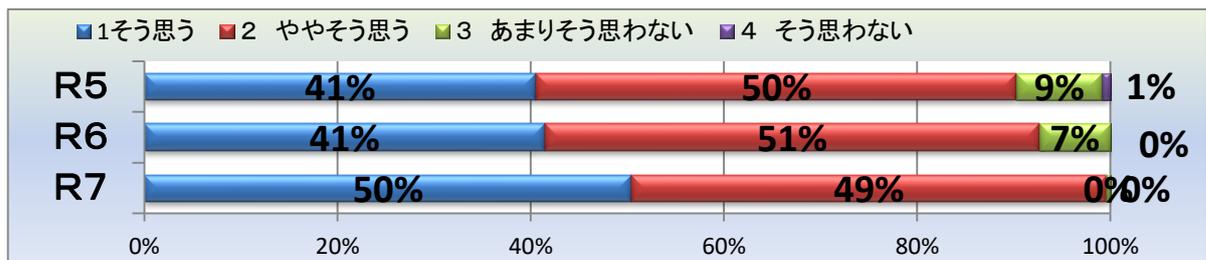
学校の教育活動（設問2～設問4）

◎肯定的な回答が97%を超えており、保護者が本校の教育活動に共感していただいていることがわかる。特に、「自ら考え学ぶ子供の育成」については、現在、力を入れている校内研究の内容であり、そこにご理解いただいていることがありがたい。今後も、地域人材の活用や地域教材の導入を一層進め、リアル体験によって児童が実感をもって学ぶことのできる活動を設定し、学校や家族、地域を愛する児童の育成に向かいたい。

設問2 学校は、一人一人を大切に、自ら考え学ぶ子どもの育成に努めている。

全校	1	2	3	4
R5	92	113	20	2
R6	90	111	16	0
R7	115	112	1	0

(人)



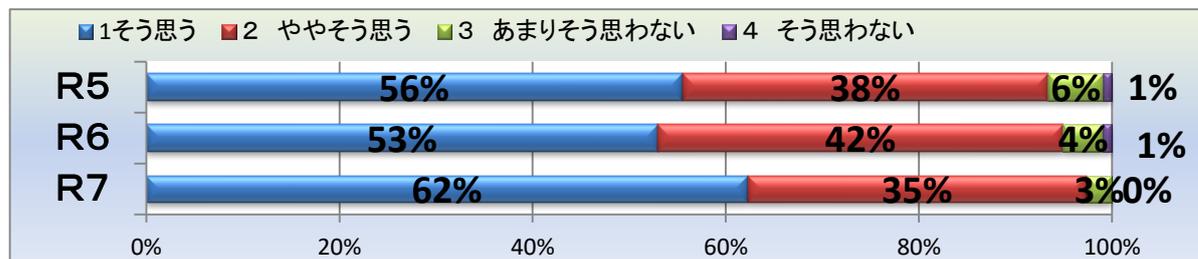
設問2 学校は、一人一人を大切に、自ら考え学ぶ子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> 事前にお願いをすると丁寧に対応していただき、見守ってくださったり、時にはチャレンジできるよう声かけしてくださるから 個別最適な指導を丁寧に行なっていると感じます。 特に行事に対して、丁寧にケア会議を開いてくれ、統一した育成支援に努めてくれていると思います。 先生方（特に担任の先生）が子どものことをよく理解してくださっているから きめ細やかで丁寧な授業で、きちんと学力をつけていただいております。ありがとうございます。 先生方は困ったことがあれば、すぐに相談や解決をくださり、子どものことをとても大切にしてくれていると親子で思っています。また、自主学習を褒めてくれて、子どものやる気を引き出してくれます。
B	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生は我が子の特性をよく捉えていると思う 1人1人にはどうしても難しいと思います
C	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人を丁寧にしているか疑問があるため 子供自身が学校で大切にされていると感じていないようだから

★担任はもちろん、全職員で全校児童を見守り、気になる児童には声をかけ、安心感のある学校生活を送れるよう支援しています。一人一人の児童を大切に!を基本に、これからもさらに努力していきます。

設問3 学校は、外部講師を招いての授業や体験的な学習を通じて、豊かな心をもつ子どもの育成に努めている。

全校	1	2	3	4
R5	126	86	13	2
R6	115	91	9	2
R7	142	80	6	0



問3 学校は、外部講師を招いての授業や体験的な学習を通じて、豊かな心を持つ子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> • ボッチャの授業参観を見させていただきました。外部からの人材を活用し、児童に学ばせる機会を作っていると感じています。 <ul style="list-style-type: none"> • ボッチャを体験できたのは良い経験になりました。 • 心の教育授業や校外学習を行なっている。特にLGBTQについては、親も勉強になりました • 心の授業等、座学だけでは経験出来ない事を授業に取り入れている為。 • 外部講師による授業は親も参加できる機会があり、とても嬉しく思います。 <ul style="list-style-type: none"> • 心の教育授業ありがとうございます！ • 外部機関（公民館、地域の方）の協力で様々な行事や体験活動を取り入れて下さっています。保護者だけでは難しいこともあるので、貴重な機会だと思います。 • 学年ごとに外部講師のお話を聞く機会が設けられているから • 発達段階に応じて6年間を通じて様々な体験学習をさせてくださり、ありがとうございました。本ものをみたり聞いたり、専門家の話を伺う中で、多くの学びがあったと思います。 • 海外で生活した方のお話を聞かせてもらったり、音楽会を開き聴かせてくれるなど、貴重な体験をさせてもらっていると嬉しいです。
C	<ul style="list-style-type: none"> • 頻度が少ないと思います。専門科目やクラブ活動などもっと積極的に導入することで、子どもの育成と先生の負担軽減の両方につながると思います。 • 4年生はスケート教室の経験が出来てよかったですが、来年のスキー教室などがなくなったのは、お友達同士の良い経験体験が減ってしまうと思いました。 <ul style="list-style-type: none"> • 体験をする場がどんどん削られていく気がする。 • 特に特化してるとは感じませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • そういったことをしていると知らないから。

★行事については、「これからの学校の在り方」と「児童にとって本当に必要なもの」を熟議し、実施しています。学年ごとに行う体験的な学習は、学年の教科指導内容により軽重が出てきます。取り入れるものがあれば削らなければならないものもあることの意味の重さを感じながら、学校としては、これからも学習内容と児童の実態にあったリアル体験を大切にしたい授業を創造していきます。

設問4 学校は、地域人材の活用や地域教材の導入など、地域に根ざした教育に努め、ふるさとを愛する子どもの育成に努めている。

全校	1	2	3	4
R5	118	91	18	0
R6	111	92	13	0
R7	111	110	6	1

(人)



問4 学校は、地域人材の活用や地域教材の導入など、地域に根ざした教育に努め、ふるさとを愛する子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> 地域での校外学習が何度もあり、子が楽しく地域のことを知ることができる機会でも良かったなと思いました。車で通った際にはよく話題に上げてくれます。 田植えを体験したり、積極的に校外学習へ出掛けている為。 稲を植え、稲刈りをさせてもらったり、地域ボランティアさんたちとの交流があり、ありがたいです。 穴山たなばた祭りなど地域の行事を知る機会があり良いと思います。 地域出身の偉人調べや各町の特色をネットを使ったりしてよく調べているなど感心しますが、ソースがネットの場合、誤った情報を取り入れていることがあり注意が必要と思いました そう思いますが、必ずしも山梨や韮崎がふるさとの児童だけでも無いので（転勤などもある）、ふるさとに注力するよりも広く国内外に視野を広げてあげるのが将来的に役に立つのではと思います
B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科のミシン縫いの授業では、地域の方にお手伝いしていただいたようですが、その他の活用や導入は、どのような内容なのか教えていただきたいです。 地域のことを知る機会は設けられていると思います ・視野の広い教育にももっと力を入れて欲しいです。
C	<ul style="list-style-type: none"> 地域教材とは具体的に何を指しているのか、ふるさとを愛する子どもの育成とは具体的にどんな育成なのかわかりません。 もっと、地域と関わりを持てたら良いと思います。 ・地域活動が減っているから。 ・活動が見えていない これまでそのような授業があったのかわからない（2）
D	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な内容を知らないから。

★韮崎・山梨・そして日本、ふるさとを大切に思う心を育てるには、まずふるさとについて知ることが肝要だと考えます。その考えの下、どの学年でも、地域人材や地域教材を取り上げたり、地域について認識を深める教育を推進したりしています。今後も児童の学びの様子や内容が保護者の方に伝わるよう、学年だより・学校だより・ブログなどでの発信に努めます。

[環境整備と安全確保]

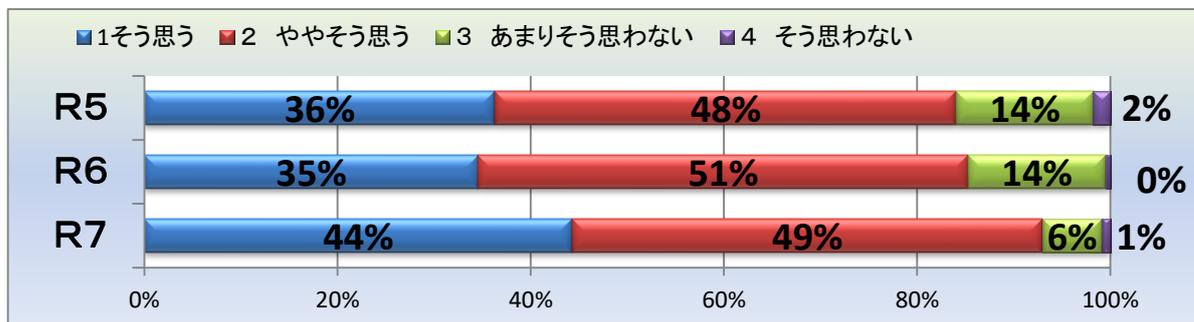
環境整備と安全確保（設問5、6）

◎校舎については、築36年を迎えており、老朽化は否めない。ただ、修繕箇所はできるだけ修繕して使いやすくし、児童には丁寧な使い方の指導を行い、また児童が日々の掃除に熱心に取り組み、職員・児童みんなで校舎を大事に使っている。今後も、児童の安全に関わる大きなものについては、早急に市と協議しながら修繕を進めるとともに、校内レベルでもできる努力をしながら、なじみある校舎を大事に使っていきたい。

◎登下校の安全については、肯定的な回答が多いが、AB評価を比較したときに、若干B評価が増えている点が課題である。実際にスクールボランティアさんの数は減っており、見守りが十分とはいえない場面もあると感じる。今後も地域への安全見守りの協力要請を粘り強く続けると共に、地区担当教員による下校時の指導などを確実にやっていく。また、今後は保護者と協働した見守り活動についても模索する必要があると考える。

設問5 学校は、教室・体育館・校庭・遊具を整備し、安全な教育環境を整えている。

全校	1	2	3	4
R5	82	108	32	4
R6	75	110	31	1
R7	101	111	14	2



問5 学校は、教室・体育館・校庭・遊具を整備し、安全な教育環境を整えている。

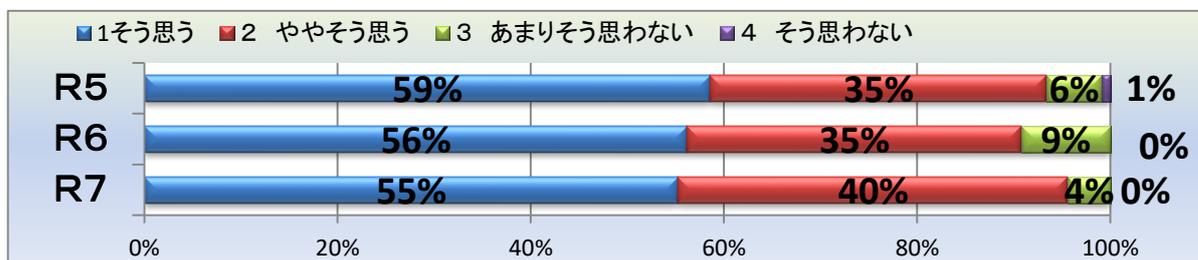
A	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の子達が木の根の張り出した凸凹の地面の所で鬼ごっこをする姿を見かけますが、体感やバランス感覚を鍛えるのにとっても良い環境だなと思います。また、休み時間の時に保育園生がお散歩に来た時にはドングリを拾って渡してあげるやりとりも見かけました。年下の子に優しくしてあげているのを見て、成長を感じました。 古い校舎にもかかわらず、整備が行き届き、いつも行っても気持ちのよい学校だと思います。 特に危ないと感じる場面はありませんでした。 ・お掃除も綺麗に行き届いています。
B	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏りの跡やひび割れなどみると不安になりますが、毎年『大規模修繕を控えています』で終わっている気がします。その前に何か起きたらどうするのでしょうか？ 老朽化は進んでいると思いますので、見て見ぬふりしているところが正直あります。月1点検等の実施を切望します。安全なのだと思いますが、校舎の老朽化が見えるところがあります。 ・建物が老朽化している。(2) 低学年グラウンドのトンネルが使えなくなったのは勿体無いと感じます。子どもにとってはワクワクできる場所だったと思うので。使えるようになれば嬉しいです。 少し危ない遊具があると言っていました。 ・あるならもっと広報した方が良い
C	<ul style="list-style-type: none"> 子供に聞いてみると、危険は感じないけれど、プールは劣化が進んでいるので改善が必要だと思うそうです。 学校だけでは難しい取り組みであることは承知していますが、トイレの改修が早期に行われることを望みます。 校庭のトイレが、入り口が一つで男女の区別が非常に曖昧な作りになっており、安全とは言いがたい。 トイレの和式や低学年グラウンドの整備がなされていない感じがする。 トイレをどうにかして欲しいです。とても不衛生で使いにくく感じます。 昇降口の前の地面がデコボコしている 熱中症対策として体育館などの空調の整備などご検討いただけましたと幸いです。 体育館の網戸が破れていたり、網がない箇所があり気になりました 低学年グラウンドの芝生がなかったり、トンネルが使えなかったり、校舎の壁がボロボロだったりするので。 築年数があることからどうしても老朽化しているなど思うところはある。 ・老朽化が気になります。 学校自体がかなりの老朽化が進んでいる ・いつ点検して整備しているのかわからないため 校庭整備の時に蜂の巣がありました。大きい蜂だったので普段から飛んでたと思います。刺されてからでは遅いのでしっかりチェックして欲しいです。
D	<ul style="list-style-type: none"> 子供から、エアコンが壊れているという話をよく聞くから トイレ以外は建物は古いですが教育環境が整っていると思う。トイレも一部改修されたが、全面的に清潔な環境、使いやすい環境を整えてあげてほしい。

★築36年目なので校舎の老朽化は否めません。学校としては、自分たちでできる環境整備や修繕に積極的に取り組んでいます。環境整備員さんや学校事務員さんも精力的に活動してくださっています。また、業者さんへの依頼が必要なものについては、優先順位をつけて市教委と協議しながら、一つ一つの改善・改修を進めております。子供たちが安全に学ぶことのできる環境づくりのために、今後も校舎を丁寧に使うとともに、危険個所の修繕に努めます。

設問6 学校は、集団登下校・校区パトロールの実施、スクールガードの協力を得るなど、子どもの安全に配慮している。

全校	1	2	3	4
R5	133	79	13	2
R6	122	75	20	0
R7	126	92	10	0

(人)



問6 学校は、集団登下校・校区パトロールの実施、スクールガードの協力を得るなど、子どもの安全に配慮している。

A	<ul style="list-style-type: none"> • いつも生徒の登下校を見守っていただき感謝しています。 ・登下校の見守りがとてもありがたいです。 • 校長先生自ら、毎朝交差点に立っていただいている、大変感謝しています。 • 通学路に所々見てくださる方がいて、安心です。いつもありがとうございます。 • 児童館へ向かう大集団を、たくさんの先生方に見守っていただいております。また朝夕の忙しい時間帯に、スクールガードのボランティアさんに毎日交差点に立っていただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。 • 横断歩道などに立ってくださっている方々、本当にありがたく思っております。 ・しっかりとした連携を感じる • 下校の際には声を掛けていただいたり、雨の日には傘をさしていただいたり、いつもありがとうございます。 • 暑い寒い日も子どもの安全に配慮して頂き感謝しかありません。 • スクールバスにはとても助かってます
B	<ul style="list-style-type: none"> • 下校途中から1人になってしまうが、なるべく1人になる時間が少なくなるように班編成してくれている。 • 常に付いて見守ることは物理的に厳しいかと思っておりますので、子どもへの声掛け・指導等に力を入れていただければありがたいです。 • 1,3年下校など人数が少ない時は下校時子供だけになることが多い事は承知していますが、段々慣れてきてる年齢になると自由な行動を取る子が出てきてるので、子供達への注意喚起やたまに見守りなどがあるととっても安心できます。 • 絵見堂の交差点のスクールガイドさんが不在のまま、低学年の子が黄色信号で走っているのを見ると少し心配。 • 絵見堂交差点のスクールガードさんが辞められてから校長先生が毎朝立って下さっていたのですが、今は誰もいらっしやらない子どもから聞きました。人材確保が難しいのは理解していますが、どなたかいらっしやらないのでしょうか？ • スクールガードさんが増えると良いですね、以前は校長が見守ってくれていた信号も今は誰もいないと聞きます。 • 仕方ない気もしますが・・・1、2年生下校でスクールガイドがいなくて遠い地域は、距離の長い間何かあったらと思うと、どうしてもお迎えを家族に頼まなければならない状況・・・1、2年生だけだと歩く人数も少ない。坂井や遠い地域で、1、2年生下校の時だけ1、2年生だけバスに乗れたら安心だなと思います・・・が、実際問題バスはイレギュラーな事は難しいのは承知なので、お迎えに頼るしかないかなと思っています。 • 今まで『合併時の条件にない』とのことで突っばねていた新府駅周辺の児童が今年度からスクールバスになったことを評価したいです。でも『合併時の条件』であったはずの穴山の児童を安全に送迎するための道路(市道何号線だったか忘れましたが)40年近くたって完成していない事実はどう捉えますか？
C	<ul style="list-style-type: none"> • 絵見堂交差点に先生やスクールガードの方がいない時期があり、登下校が心配に感じるがありました。 • 絵見堂信号の交通量、特に朝の時間帯に急いである車が見られるため、リスクがあると考えられます。できる限りスクールガードの方へのご協力をさせていただきたいです。 • 絵見堂交差点はスクールガードさんがいないので、危ないかなと思います。 • 通学路に横断歩道があるがスクールガードの方は居らず、押しボタン式でとても危険(信号無視の車がとても多い)な為、特に低学年は必ず保護者が見守らないといけないう。 • スクールバスのためだと思いますが、校区パトロールやスクールガードの協力をいただいているという実感がいないから • 毎朝、東門にはよく先生方が立って子どもたちに挨拶をされていると聞きますを。ぜひ西門でもお願いします。 • 雪の日などの農道、通学路の雪かきなど保護者だけでやるのは無理がある。ある程度みんなが通る農道は機械など導入するか送り迎えて登下校するなど促してほしい。 • 1,2年下校はどうかと思います。班の家が離れていればひとりになるリスクが高い。 • 集団下校でも高学年の子とバラバラで、1年生だけで帰ってくる人が多い

★北東小学校は学区が広いので、通学状況も歩き、スクールバス、お迎え・送り、児童館利用など、様々です。学校では、教職員に地区担当を割り当て、一緒に歩いて危険箇所点検や歩き方の指導、下校時の安全を啓蒙する声かけ、地区ごとの下校時の指導などを行っています。児童の登下校について心配事がある場合は、地区担当の職員に声を届けてください。共に解決の方向を探っていきたいと考えています。

★通学路の危険箇所については、今後も毎年行われる通学路安全点検で出していいただき、葦崎市に要望していきます。

★絵見堂の交差点につきましては、学校運営協議会や地区の区長さんなどを通してスクールボランティアの募集を行っておりますが、未だに人材が見つかりません。これまで学校長がその部分を務めてきましたが、学校運営上、難しい現状です。今後は、保護者の皆さんにもご協力をいただき、持続可能な児童を見守る体制をつくっていくことが求められます。

[学習指導と生活指導]

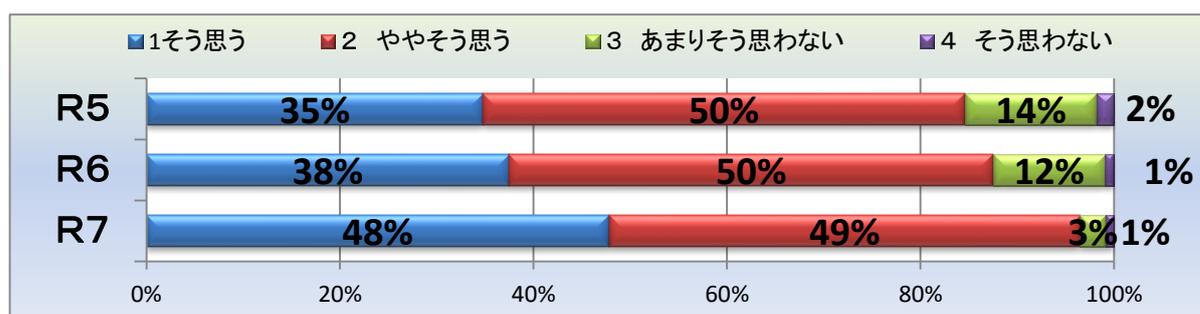
学習指導と生活指導（設問7～10）

◎いずれの項目も肯定的な回答が96%を超えており、学校の指導について評価をいただいていることがありがたい。その思いは、児童を家庭と学校とが共に育成していく大きな基盤となる。学校は、変容する学校教育や多様化する子供たちの実態を把握し、今後も個々の児童がそれぞれに成長できる学校教育の実現のために、日々の子供たちへの関りを大切にしていきたい。

設問7 学校は、一人一人の児童理解に努め、個に応じた指導を工夫している。

全校	1	2	3	4
R5	79	113	31	4
R6	81	108	25	2
R7	109	111	6	2

(人)



問7 学校は、一人一人の児童理解に努め、個に応じた指導を工夫している。

A	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な声をかけてくださり、指導してくださっていると感じています。 ・細やかなご指導に感謝しています。 担任の先生には、地味な息子にもよいところをたくさん見いだしていただきました。子どもが毎日楽しく登校できたのは、北東小の先生方のおかげです。 先生方が個性を伸ばしてくださるアドバイスや声かけがあり、子どもの自己肯定感が上がると感じています。 懇談で子どもの様子をしっかりと教えてもらっているから。 ・面談でも一人一人を見ている印象 自主学习ノートも一人一人丁寧に見て、個別懇談では具体的な話しが出来て成長を感じます。 新任の先生ですが、一人ひとりをしっかりとみてくれていて、個々に合った対応をしてくれてありがたく思っています。 様々な性格や特性を持つ子ども達がいる中で、ご尽力いただき感謝しております。個に応じた指導がいかに大変で、時間を要するのかを考えると先生の人数が足りないように感じますが、いかがでしょうか。 担任の先生が子どものことをよく理解してくださり、個別懇談の際に具体的にどのような対応をいただけるか話してくださるから 性格的なことも考慮してその子に必要な対応をしてくださっていると思うからです
B	<ul style="list-style-type: none"> 現場の先生方のご尽力には大変感謝しておりますが、集団指導が前提のシステムの中で、且つ限られた人員では個に応じた指導は難しいのではないかと思います。
C	<ul style="list-style-type: none"> お忙しい先生方が、一人一人、同じ熱量で対応するのは大変だと思うからです。 特別個に応じた指導を工夫しているとは思わない為。 学校は、それを担任の指導力にどれだけ掘り下げているのか・・・先生によって、ばらつきが凄いです。 やはり集団なので、ひとりひとり細かくまでは難しいと思います。 子どものことをしっかりと見ていない気がしている。
D	<ul style="list-style-type: none"> 学力が劣っていても個別では教えられないから ・子供から、授業が簡単過ぎてつまらないとよく聞くから

★現在、校内研究会で「子供主体の授業」の構築をテーマに、一人一人の子供たちに対応できる授業の実現を目指して研究に取り組んでいます。全職員で全校児童を見守ることを意識し、それぞれの立場・分掌から、専門性を生かし、チームとなって児童理解に取り組んでいます。すべてを見取することは難しいこともありますが、私たち教員はそれを決まらずに日々努力してまいります。心配事がありましたら共に考えていきますので、担任や各分掌職員に声を届けてください。

設問8 学校は、基礎学力が身に付くように、さまざまな工夫をして指導している。

全校	1	2	3	4
R5	82	114	25	4
R6	78	118	20	1
R7	102	120	6	0

(人)



問8 学校は、基礎学力が身につくように、さまざまな工夫をして指導している。

A	<ul style="list-style-type: none"> 低学年は基礎の基礎になる部分を教えてくれていると思うのですが、うちの子はなかなかスムーズには習得できず苦戦しながらも頑張っているなど思っています。学校では『漢字フェスティバル』『修行カード』などとちょっとゲームみたいに楽しめる要素を入れてがんばる気持ちに火をつけてくれています。おかげさまで諦めずに取り組めております。ありがとうございます。 わかりやすく丁寧に指導してくださっています きめ細やかな学習指導で、基礎基本の学力をしっかりとつけていただいております。採点の労を厭わず、本当にたくさんプリントやワークに取り組みさせていただいているからだと思います。理科の土屋先生にプログラミング学習をしていただき、プログラミングで電気がついたことを喜んで報告してくれました。 毎日の宿題や漢字プリントなど、反復が必要なことなどよくわかってらっしゃるので、多忙な業務の合間に用意してくれていると感謝しています。 楽しく話している様子から感じる 先生が学習する内容とからめたエピソードを話してくれるので記憶に残りやすいようです 授業中でも声をかけてくださったり、自主学の添削もさせていただいているから
B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の教材研究に充てる時間をもっと取れるようにしていただければ、授業参観がより楽しみになるかと思えます。 授業（一斉指導）の様々な工夫はされていると思いますが、その結果の理解度や定着度の違いに個別に対応されることは、人員的にも難しいのだろうと思います。ただ、宿題の量や内容にはもう少し個別の配慮ができないでしょうか？例えば、学年指定の漢字ノートのマスより小さい字を書く A4 サイズの漢字プリントの宿題が（おそらく 50 問テストの前だけ）大量に出されることは、漢字が苦手な児童にとっては辛いと思います。プリントのサイズや量を調整していただき、普段から少しずつ取り組む中で、できていないものができるようになるまで見ていただくと大変ありがたいです。一時的に出される多すぎるプリント学習は、プリントをこなすことばかりが目的になり、できていないところへの見直し疎かになり、できるようになるにはどうすればいいか自分で考える余裕もなくなることが懸念されます。
C	<ul style="list-style-type: none"> 個人の学力の差もあるが、家庭学習でカバーしなければならないことが多いと感じる。 暗記教育をさせていると感じます。確かに基礎学力はつくと思いますが自ら学びたいと思ったり楽しいと思えるような、内なる動機に呼びかける教育ではないと思います。 1年生は学校の基本なので宿題の直しなど、細くしてもよいと思う。やり過ぎはよくないが… 工夫をして指導してくださっている様子はこちらからは分かりかねます。 しっかりと丁寧に漢字等教えてほしい。 具体的な工夫がみえないため ・学力が低いから

★学習面では、特に算数の授業において学習支援員を配置し、担任と二人体制できめ細かな支援ができるよう努めています。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図り、一人一人の資質能力を高める研究を続けています。今後も教員一人一人のよさや強みを生かした授業づくりを進めるとともに、校内研究を通して個々の教員が自分の資質能力を高め、児童により良い教育ができるよう努力してまいります。また、宿題に関しましていくつかの工夫点をいただきましたので、共有し生かしていきます。

設問9 学校は、家庭と連携し、子どもの学習習慣の定着に努めている。

全校	1	2	3	4
R5	101	96	26	3
R6	81	116	19	1
R7	113	108	7	0

(人)



問9 学校は、家庭と連携し、子どもの学習習慣の定着に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でしてほしいことなどを、資料や通信等でお知らせいただいているので、連携して子供の課題を意識できています。 毎日、少なくとも国語と算数の宿題を出していただき、大変感謝しています。 家庭の様子を訊ねてくれて、それを参考に子どもに接してくれる。 適量の宿題を出していただいております。また自主学習も促していただき、ようやく苦手な漢字も少しずつできるようになってきました。ありがとうございます。 見逃しがちな漢字の間違いをきちんと直してくれたり、宿題の日記にコメントをくれたり、学習が楽しくなるハンコを押してくれたり楽しいので、親も楽しませてもらっています。なので、どこがつまづきポイントか、早く気づくことが出来ます。 欲を言えばですが、「あのね」の宿題をもう少し出していただけたいです。宿題で先生に読んでもらえると思うとどと文章を考えたり書いたりモチベーションになるようなのですが、家族相手だと文章を書く練習がなかなか進まないのが悩ましいです。 うちどくぶっくなど ・バランスの良い宿題 繰り返し復習できるようにプリントなどの宿題を考えてくださっていると嬉しいです 子どもが頑張っていることを本人にも家族にも伝えてくれるから
B	<ul style="list-style-type: none"> 我が子らは採点されたテストをまったく提出してきません。出すよう言っても出しません。まだ返却されてない、などとホラもふきますので、学年通信などに記載してもらえると追及しやすいです。
C	<ul style="list-style-type: none"> 宿題などである程度の学習習慣は定着すると思うが、学校と家庭の連携という具体的なイメージには繋がっていない。 宿題を見るだけになっていますが、これは連携が取れていますか？ ・家庭と連携している実感がない。(2) 具体的に何が学習習慣の定着のための施策なのか分からないため。 ・定着感は感じませんでした。 家庭にお願いすることが多すぎると思います。

★学習習慣を身につけることは、児童の自律心を育て、知識を確実に伸ばし、人生を自立して生きていくために大切なことです。学年・学級ごとに実態に合った宿題を今後も工夫していきますので、ご家庭での見守りや声掛けをお願いします。また、ご心配なことやお気づきの点につきましては、声を届けていただけるとありがたいです。

設問10 学校は、基本的な生活習慣(あいさつ,きまり,時間,忘れ物など)が身に付くように、家庭と連携し指導している。

全校	1	2	3	4
R5	101	106	17	2
R6	91	108	17	1
R7	119	108	1	0

(人)



問 10 学校は、基本的な生活習慣（あいさつをする・きまりを守る・時間を守る・忘れ物に気を付ける など）が身につくように、家庭と連携し指導している。

A	<ul style="list-style-type: none"> 1人で支度をし、必要なものを事前に教えてくれるようになり成長を感じています。 時間割や週案などを毎週出させていただいているので、子供が予定を見ながら忘れ物がないよう準備ができるよう資料を出してもらっていると感じます 元気に挨拶をしてくれると先生に言われたよ、と子どもが先生に褒めてもらったりするようで、毎日きちんとしようという気持ちになるそうです。 学校だけでなく家庭のしつけも重要なので、学校はよくやってくれていると思います
C	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携している実感がない。

★現代、価値の多様化が進み、基本的な生活習慣の定着にも個人差が見られますが、今後子どもたちが成長していく上で、また集団の中で気持ちよく生活していく上で大切だと考えます。そして、基本的な生活習慣を身につけるためには、家庭と学校とが足並みのそろった指導・支援をすることが大切です。学校では「学校のきまり」を全職員で共通理解し、児童に働きかけています。ぜひ、ご家庭でもそれらをご理解いただき、共にお願ひします。

[学校での生活に関して]

◎高い肯定的な回答をいただいております、ありがたい。年度当初に「いじめ基本計画」や「学校のきまり」などについて全職員で確認しあい、問題が起きた時には職員間で情報共有して児童に向き合ってきた。今後も、本校なりのルールを指導するとともに、「心の教育」や道徳教育、その他心の成長が図れる場を捉えて、より良いコミュニケーション能力の素地を育てていくことが大切である。

設問11 学校は、命の大切さ思いやりルールなどについて指導し子どもが仲良く生活できるように取り組んでいる。

全校	1	2	3	4
R5	102	113	10	1
R6	94	107	15	0
R7	105	119	4	0

(人)



問 11 学校は命の大切さや思いやりルールなどについて指導し子供が仲良く生活できるように取り組んでいる。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・オオムラサキセンターの方を招いての講演会、どんなお話をさせていただけるのか楽しみです。 ・些細なことにも気にかけてくださっているので、安心しています。 ・車椅子生活だった2週間、多くの先生方、お友達に助けていただいたり、温かい声かけをいただいたりしました。お友達の声かけの多さに驚くのと同時に、そのような仲間づくりをしてくださった担任の先生に感謝の気持ちでいっぱいです。 ・小さなことで相談に躊躇するようなことも、きちんと耳を傾けて聞いてくださり、すぐに解決をしてくださります。おかげで、楽しい学校生活を送れています。 ・トラブルなどがあつたとき、丁寧に対応してくださっていると思います ・何かがあつた時は近くにいる先生がすぐ対応していたと子どもから聞くから
C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でも指導はしていると思うが、聞いていて不快になるような言葉遣いをする子供が多い。 ・子どもの話を聞いていると、ちゃんと子どもの話を聞いてくれないと感じる時が多い先生がいる。 ・やはり、問題が起こってしまうので難しいと思います。 ・取り組みの内容がわからないため

★学校では、いじめのない学校にするために、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、未然防止のための児童の見守り、安心感のある学級づくり、早期対応のための「いじめアンケート」の実施などを行っています。また、担任はクラスの児童との信頼感を築き、安心感のある学級づくりに努力しています。今後もその姿勢を継続するとともに、言葉遣いの問題や小さな課題の見逃し事案などが起きないように、気を配ってきます。

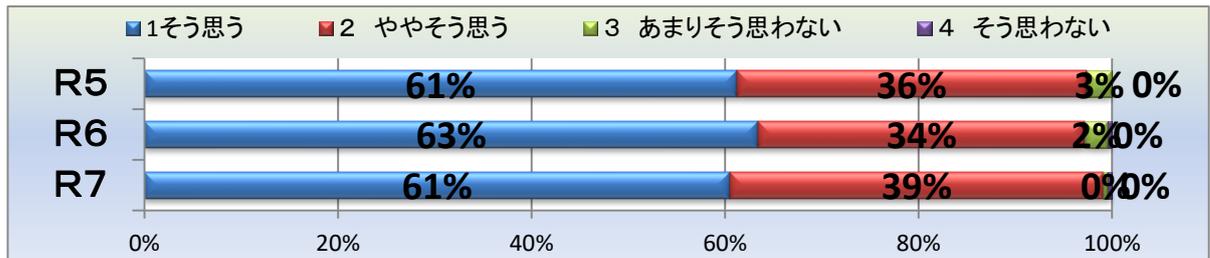
[学校と地域, 家庭]

◎家庭との連携は、学校が最も大切にしていることの一つである。より良い子供の育成は、家庭と学校が子どもを真ん中において共通理解を図り、共に子供を支援していくことが大前提となる。学校としては、これからも学校の基本的方針や学校での児童の生活の様子をこまめに適切に発信し、また保護者の悩みや心配にも寄り添い、パートナーとしての信頼関係を気づいていきたい。

設問12 学校は、たより(学校便り,学年・学級便り,保健便り,図書便り,給食便り)や北東小学校ブログで、保護者や地域に情報を提供している。

全校	1	2	3	4
R5	139	82	6	0
R6	137	73	5	1
R7	138	88	1	1

(人)



問 12 学校は、たよりや北東小ブログで保護者や地域に情報を提供している。

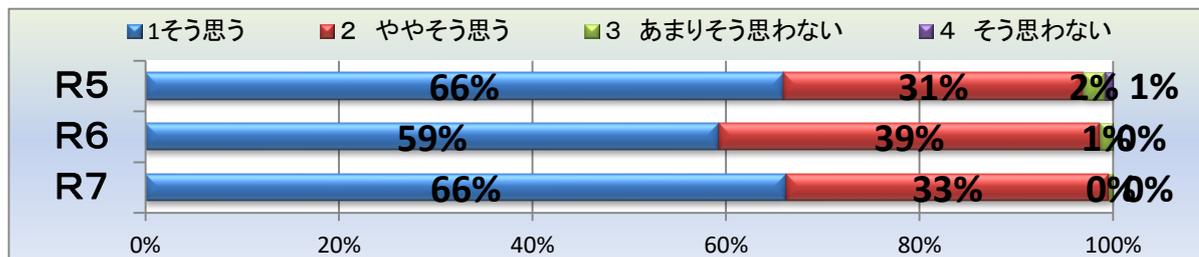
A	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁にお便りなどを出してくださっているのでありがたいです ・学校での様子がわかり、ありがたいです。 ・ブログも見ています。 ・ブログ毎回楽しみにしています。主に親子で給食の話をします。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインなどの方がキャッチしやすい印象 ・ブログ…給食の話題が多いように思います、学校であった小さな良かったこと、子どもたちに流行っている遊びなど 具体的・なエピソードが載っていると学校の様子がよりわかると思います ・おたよりの写真が鮮明ではないため、少しわかりにくいときもありました。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの情報が少ないと感じる
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログが活用されていない様感じる

★ブログに関しては、映像上の問題もあり、なかなかアップできない部分もありました。今後新しいプロバイダに変更されます。それを機に、職員みんなで使い方を学び、更新できるように努力していきます。

設問13 学校は、授業参観やPTA活動など、保護者が参加する行事が計画的に行われている。

全校	1	2	3	4
R5	149	70	5	2
R6	128	85	3	0
R7	151	76	1	0

(人)



問 13 学校は、授業参観やPTA 活動など、保護者が参加する行事が計画的に行われている。

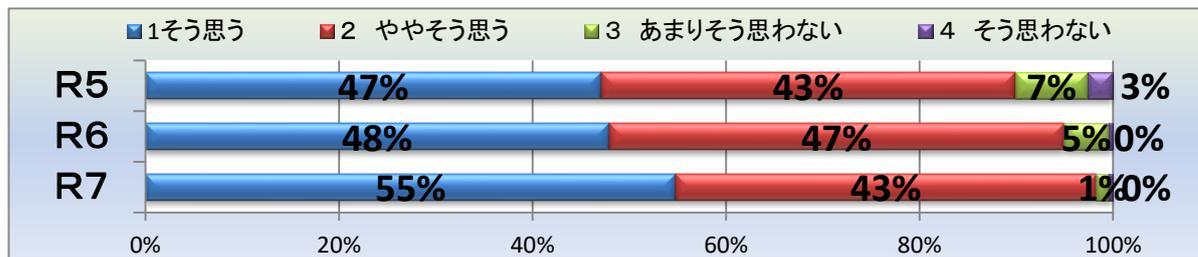
A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な授業参観などを計画してくださっていると感ずます。 毎回楽しみにしています。 PTA などの参加は緊張もありましたが、先生方や保護者の方々とは顔を合わす機会があると直接お話することはそんなになくとも親しみや安心感が生まれて良いものだなと思ひました。
B	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観など以外に、協力させていただけることや先生のお手伝いになることがあつたらお声かけしてほしいです。 運動会にも保護者が参加したいです。子どもたちも喜ぶと思ひます。 合唱コンクールや音楽会もあるといいなと思ひます。
C	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観など定期的に行われていますが PTA 活動はしていても大した発信もなく役員をしていなければ何の為の何の活動しているかが不明。

- ★授業参観や親子学習には、たくさんの方が出席いただきありがとうございます。これからも児童の様々な姿や表情を見ていただけるよう、実施していきます。
- ★本年度は、日本PTA協会から優秀PTAということで表彰していただきました。PTA活動につきましては、役員の方を中心に本当に頑張っています。今後、ブログなどでPTA活動もお伝えできるとよいと思ひます。なお、すべての保護者の皆さんが本校のPTA会員ですから、お気づきのことは積極的に声を上げていただけるとありがとうございます。

設問14 学校は、子どもの悩みや保護者の願いなどの相談にのってくれる。

全校	1	2	3	4
R5	107	97	17	6
R6	104	102	10	1
R7	125	99	3	1

(人)



問 14 学校は、子どもの悩みや保護者の願いなどの相談にのってくれる。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談や、連絡帳などで気になることは対応していただいています。 ・子どもの体調不良時には丁寧に観察、対応して下さって、それをご連絡頂き良かったと思っています。 ・先生もお忙しい中、息子の様子を見て、都度、連絡をくれたり、相談にのってくれたりとても有難いです。 ・担任の先生はとても丁寧に話を聞いてくださりありがとうございます。 ・子どもの様子を注意深く観察くださり、先生から声をかけて、思いを確認いただき、ありがたく思っております。とてもよくしてくださり、感謝しています。 ・担任の先生には相談にのっていただき、子供の情報共有をしています。 ・心配なことについて、時間を作ってお話する機会を設けていただいております。いつもありがとうございます。 ・何が子どもにとっていい方法なのかを一緒に考えてくださるから。 ・スクールカウンセラーに関して、相性がありますし、大変わがままかもしれませんが複数人いてもいいような気がします。 ・特に担任の先生が子どもにも保護者にも真剣に向き合ってくださいます
C	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった機会がまだないのでわかりません。 ・新日課の開始は、保護者の願いとは異なると思います。帰る時間が早くなり、働いている家庭は家で子供が待機する時間が伸びるだけで、まだ自分で学習する力が付いていないので、ゲームや YouTube の時間が伸びるだけだと思います。授業の時間も休み時間も短くなるでしょうし、お友達と過ごす時間も減り、子供に良い影響はないと思います。 ・保護者からは要望はありませんが、子供は、先生に関する不満を色々抱いているようです
D	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや意見を伝えても良くなったことがないから。

★保護者と教師が「子供のよりよい成長を目指して」足並みをそろえて支援していくこそが、子供のより良い成長につながります。これからも、学校は児童や保護者の考えや意見に真摯に耳を傾け、より良い改善の方向をともに模索し、進んでいきたいと考えています。子供たちの声で気になることは、ぜひ学校に伝えてください。子どもを真ん中に、学校と保護者はパートナーでありたいと考えています。

全体を通して

すべての項目で肯定的な回答が90%以上であり、保護者の多くは学校経営を評価し、信頼をよせていただいていることが分かる。ただ、否定的な回答があることも認識し、その理由の一つ一つに耳を傾け、改善すべき点については真摯に取り組んでいきたい。そして、児童のより良い成長のために保護者と足並みのそろった学校運営を行っていきたい。

学校教育目標と学校経営（設問1）

◎肯定的な回答が99%であり、ほとんどの保護者が北東小学校の学校教育の方向性を理解し、同じ方向を向いて児童に向き合っていることがわかる。それぞれの内容についてのお知らせの仕方については、PTA行事などでの校長による説明、ホームページの活用、学校運営協議会を通じた説明、学校行事で関わりのある内容への紐づけなど、様々に工夫し、より保護者に浸透するように工夫したい。

設問1 学校は、教育目標や経営方針を保護者に知らせ、信頼される学校づくりに取り組んでいる。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にしっかりと年度当初に示していると感じます。 ・PTA 総会や学年総会で説明していただけるから ・お知らせがこまめにいただけるのと、内容にミスがないため。 ・行事やその他の重要事項についても書面等で説明がなされているから ・必ず通知も来るので1日の様子や特記事項は必ず教えてくれ、安心した学校生活を送れています。 ・校長先生のリーダーシップのもと、取り組みをなさっている様子が、様々な場面で感じることができるから。 ・担任の先生には、きめ細やかに生活指導・学習指導をしていただいております。6年生になってもなお、今日の学校でこんな楽しいことがあったと毎日のように報告してくれます。6年生の先生方には感謝しかありません。組立体操も今年も素晴らしい演技で感動致しました。涙なくしては見られなかったです。 ・お便りをこまめに配信していて、信頼される学校づくりに取り組んでいると思います。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・新日課時程の試行についてはもう少し早く教えていただきたかったです。 ・密に取れているとまではいかないかと思えます。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標や経営方針があり周知するのは当たり前のことであって、信頼される学校づくりへの取組は他の活動から評価されるものだと思う。 ・教育目標や経営方針を耳にすることがあまりないから。 ・よくわからないから

★保護者や地域の皆さんと同じ方向を向いて児童を指導・支援していくことがより良い教育につながると考えます。学校の基本的方針を示す、教育目標や学校経営方針については、共通理解が図られるよう、PTA 総会で丁寧に説明させていただくとともに、折に触れてお伝えできるよう気を配っていきます。

学校の教育活動（設問2～設問4）

◎肯定的な回答が97%を超えており、保護者が本校の教育活動に共感していることがわかる。特に、「自ら考え学ぶ子供の育成」については、現在、力を入れている校内研究内容であり、そこにご理解いただいていることがありがたい。今後も、地域人材の活用や地域教材の導入を一層進め、リアル体験によって児童が実感をもって学ぶことのできる活動を設定し、学校や家族、地域を愛する児童の育成に向かいたい。

設問2 学校は、一人一人を大切に、自ら考え学ぶ子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にお願いをすると丁寧に対応していただき、見守ってくださったり、時にはチャレンジできるよう声かけして下さるから ・個別最適な指導を丁寧にこなしていると感じます。 ・特に行事に対して、丁寧にケア会議を開いてくれ、統一した育成支援に努めてくれていると思います。 ・先生方（特に担任の先生）が子どものことをよく理解してくださっているから ・きめ細やかで丁寧な授業で、きちんと学力をつけていただいております。ありがとうございます。 ・先生方は困ったことがあれば、すぐに相談や解決をしてくださり、子どものことをとても大切にしてくれていると親子で思っています。また、自主学習を褒めてくれて、子どものやる気を引き出してくれます。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生は我が子の特性をよく捉えていると思う ・1人1人にはどうしても難しいと思います
C	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人を丁寧にしているか疑問があるため ・子供自身が学校で大切にされていると感じていないようだから

★担任はもちろん、全職員で全校児童を見守り、気になる児童には声をかけ、安心感のある学校生活を送れるよう支援しています。一人一人の児童を大切に！を基本に、これからもさらに努力していきます。

問3 学校は、外部講師を招いての授業や体験的な学習を通じて、豊かな心を持つ子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> • ポッチャの授業参観を見させていただきました。外部からの人材を活用し、児童に学ばせる機会を作っていると感じています。 <ul style="list-style-type: none"> • ポッチャを体験できたのは良い経験になりました。 • 心の教育授業や校外学習を行なっている。特にLGBTQについては、親も勉強になりました • 心の授業等、座学だけでは経験出来ない事を授業に取り入れている為。 • 外部講師による授業は親も参加できる機会があり、とても嬉しく思います。 <ul style="list-style-type: none"> • 心の教育授業ありがたいです！ • 外部機関（公民館、地域の方）の協力で様々な行事や体験活動を取り入れて下さっています。保護者だけでは難しいこともあるので、貴重な機会だと思います。 • 学年ごとに外部講師のお話を聞く機会が設けられているから • 発達段階に応じて6年間を通じて様々な体験学習をさせてくださり、ありがとうございました。本ものをみたり聞いたり、専門家の話を伺う中で、多くの学びがあったと思います。 • 海外で生活した方のお話を聞かせてもらったり、音楽会を開き聴かせてくれるなど、貴重な体験をさせてもらっていると思います。
C	<ul style="list-style-type: none"> • 頻度が少ないと思います。専門科目やクラブ活動などもっと積極的に導入することで、子どもの育成と先生の負担軽減の両方につながると思います。 • 4年生はスケート教室の経験が出来てよかったですが、来年のスキー教室などがなくなったのは、お友達同士の良い経験体験が減ってしまうと思いました。 <ul style="list-style-type: none"> • 体験をする場がどんどん削られていく気がする。 • 特に特化してるとは感じませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • そういったことをしていると知らないから。

★行事については、「これからの学校の在り方」と「児童にとって本当に必要なもの」を熟議し、実施しています。学年ごとに行う体験的な学習は、学年の教科指導内容により軽重が出てきます。取り入れるものがあれば削らなければならないものもあることの意味の重さを感じながら、学校としては、これからも学習内容と児童の実態にあったリアルな授業を創造していきます。

問4 学校は、地域人材の活用や地域教材の導入など、地域に根ざした教育に努め、ふるさとを愛する子どもの育成に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> • 地域での校外学習が何度もあり、子が楽しく地域のことを知ることができる機会でもとても良かったなと思いました。車で通った際にはよく話題に上げてくれます。 • 田植えを体験したり、積極的に校外学習へ出掛けている為。 • 稲を植え、稲刈りをさせてもらったり、地域ボランティアさんたちとの交流があり、ありがたいです。 • 穴山たなばた祭りなど地域の行事を知る機会があり良いと思います。 • 地域出身の偉人調べや各町の特色をネットを使ったりしてよく調べているなど感心しますが、ソースがネットの場合、誤った情報を取り入れていることがあり注意が必要と思いました • そう思いますが、必ずしも山梨や韮崎がふるさとの児童だけでも無いので（転勤などもある）、ふるさとに注力するよりも広く国内外に視野を広げてあげるのが将来的に役に立つのではと思います
B	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭科のミシン縫いの授業では、地域の方にお手伝いしていただいたようですが、その他の活用や導入は、どのような内容なのか教えていただきたいです。 • 地域のことを知る機会は設けられていると思います <ul style="list-style-type: none"> • 視野の広い教育にももっと力を入れて欲しいです。
C	<ul style="list-style-type: none"> • 地域教材とは具体的に何を指しているのか、ふるさとを愛する子どもの育成とは具体的にどんな育成なのかわかりません。 • もっと、地域と関わりを持てたら良いと思います。 <ul style="list-style-type: none"> • 地域活動が減っているから。 • 活動が見えていない • これまでそのような授業があったのかわからない（2）
D	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な内容を知らないから。

★韮崎・山梨・そして日本、ふるさとを大切に思う心を育てるには、まずふるさとについて知ることが肝要だと考えます。その考えの下、どの学年でも、地域人材や地域教材を取り上げたり、ふるさと教育を推進したりしています。今後も児童の学びの様子や内容が保護者の方に伝わるよう、学年だより・学校だより・ブログなどでの発信に努めます。

環境整備と安全確保（設問5，6）

◎校舎については、築36年を迎えており、老朽化は否めない。ただ、修繕箇所はできるだけ修繕して使いやすくし、児童には丁寧な使い方の指導を行い、また児童が日々の掃除に熱心に取り組み、職員・児童みんなで校舎を大事に使っている。今後も、児童の安全に関わる大きなものについては、早急に市と協議しながら修繕を進めるとともに、校内レベルでもできる努力をしながら、なじみある校舎を大事に使っていききたい。

◎登下校の安全については、肯定的な回答が多いが、AB 評価を比較したときに、若干 B 評価が増えている点が課題である。実際にスクールボランティアさんの数は減っており、見守りが十分とはいえない場面もあると感じる。今後も地域への安全見守りの協力要請を粘り強く続けると共に、地区担当教員による下校時の指導などを確実にやっていく。また、今後は保護者と協働した見守り活動についても模索する必要があると考える。

問5 学校は、教室・体育館・校庭・遊具を整備し、安全な教育環境を整えている。

A	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の子達が木の根の張り出した凸凹の地面の所で鬼ごっこをする姿を見かけますが、体感やバランス感覚を鍛えるのにとっても良い環境だなと思います。また、休み時間の時に保育園生がお散歩に来た時にはドングリを拾って渡してあげるやりとりも見かけました。年下の子に優しくしてあげているのを見て、成長を感じました。 古い校舎にもかかわらず、整備が行き届き、いつも行っても気持ちのよい学校だと思います。 特に危ないと感じる場面はありませんでした。 ・お掃除も綺麗に行き届いています。
B	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏りの跡やひび割れなどみると不安になりますが、毎年『大規模修繕を控えています』で終わっている気がします。その前に何か起きたらどうするのでしょうか？ 老朽化は進んでいると思いますので、見て見ぬふりしているところが正直あります。月1点検等の実施を切望します。 安全なのだと思いますが、校舎の老朽化が見えるところがあります。 ・建物が老朽化している。(2) 低学年グラウンドのトンネルが使えなくなったのは勿体無いと感じます。子どもにとってはワクワクできる場所だったと思うので。使えるようになれば嬉しいです。 少し危ない遊具があると言っていました。 ・あるならもっと広報した方が良い
C	<ul style="list-style-type: none"> 子供に聞いてみると、危険は感じないけれど、プールは劣化が進んでいるので改善が必要だと思うそうです。 学校だけでは難しい取り組みであることは承知していますが、トイレの改修が早期に行われることを望みます。 校庭のトイレが、入り口が一つで男女の区別が非常に曖昧な作りになっており、安全とは言い難いため。 トイレの和式や低学年グラウンドの整備がなされていない感じがする。 トイレをどうにかして欲しいです。とても不衛生で使いにくく感じます。 昇降口の前の地面がデコボコしている 熱中症対策として体育館などの空調の整備などご検討いただけますと幸いです。 体育館の網戸が破れていたり、網がない箇所があり気になりました 低学年グラウンドの芝生がなかったり、トンネルが使えなかったり、校舎の壁がボロボロだったりするので。 築年数があることからどうしても老朽化しているなと思うところはある。 ・老朽化が気になります。 学校自体がかなりの老朽化が進んでいる ・いつ点検して整備しているのかわからないため 校庭整備の時に蜂の巣がありました。大きい蜂だったので普段から飛んでたと思います。刺されてからでは遅いのでしっかりチェックして欲しいです。
D	<ul style="list-style-type: none"> 子供から、エアコンが壊れているという話をよく聞くから トイレ以外は建物は古いですが教育環境が整っていると思う。トイレも一部改修されたが、全面的に清潔な環境、使いやすい環境を整えてあげてほしい。

★築36年目なので校舎の老朽化は否めません。学校としましては、自分たちでできる環境整備や修繕に積極的に取り組んでいます。環境整備員さんも精力的に活動してくださっています。また、業者さんへの依頼が必要なものについては、優先順位をつけて市教委と協議しながら、一つ一つの改善・改修を進めております。子供たちが安全して学ぶことのできる環境づくりのために、今後も校舎を丁寧に使うとともに、危険個所の修繕に努め、真摯に安全な環境をつくっていきます。

問6 学校は、集団登下校・校区パトロールの実施、スクールガードの協力を得るなど、子どもの安全に配慮している。

A	<ul style="list-style-type: none"> • いつも生徒の登下校を見守っていただき感謝しています。 ・登下校の見守りがとてもありがたいです。 • 校長先生自ら、毎朝交差点に立っていただいている、大変感謝しています。 • 通学路に所々見てくださる方がいて、安心です。いつもありがとうございます。 • 児童館へ向かう大集団を、たくさんの先生方に見守っていただいております。また朝夕の忙しい時間帯に、スクールガードのボランティアさんに毎日交差点に立っていただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。 • 横断歩道などに立ってくださっている方々、本当にありがたく思っております。 ・しっかりとした連携を感じる • 下校の際には声を掛けていただいたり、雨の日には傘をさしていただいたり、いつもありがとうございます。 • 暑い日も寒い日も子どもたちの安全に配慮して頂き感謝しかありません。 • スクールバスにはとても助かってます
B	<ul style="list-style-type: none"> • 下校途中から1人になってしまうが、なるべく1人になる時間が少なくなるように班編成してくれている。 • 常に付いて見守ることは物理的に厳しいかと思っておりますので、子どもへの声掛け・指導等に力を入れていただければありがたいです。 • 1,3年下校など人数が少ない時は下校時子供だけになることが多い事は承知してはいますが、段々慣れてきてる年齢になると自由な行動を取る子が出てきてるので、子供達への注意喚起やたまに見守りなどがあると安心してきます。 • 絵見堂の交差点のスクールガイドさんが不在のまま、低学年の子が黄色信号で走っているのを見ると少し心配。 • 絵見堂交差点のスクールガードさんが辞められてから校長先生が毎朝立って下さっていたのですが、今は誰もいらっしゃらないと子どもから聞きました。人材確保が難しいのは理解していますが、どなたかいらっしゃらないでしょうか？ • スクールガードさんが増えると良いですね、以前は校長が見守ってくれていた信号も今は誰もいないと聞きます。 • 仕方ない気もしますが・・・1, 2年生下校でスクールガイドがいなくて遠い地域は、距離の長い間何かあったらと思うと、どうしてもお迎えを家族に頼まなければならない状況・・・1, 2年生だけだと歩く人数も少ない。坂井や遠い地域で、1, 2年生下校の時だけ1, 2年生だけバスに乗れたら安心だなと思います・・・が、実際問題バスはイレギュラーな事は難しいのは承知なので、お迎えに頼るしかないかなと思っています。 • 今まで『合併時の条件にない』とのことで突っばねていた新府駅周辺の児童が今年度からスクールバスになったことを評価したいです。でも『合併時の条件』であったはずの穴山の児童を安全に送迎するための道路(市道何号線だったか忘れましたが)40年近くたっても完成していない事実はどう捉えますか？
C	<ul style="list-style-type: none"> • 絵見堂交差点に先生やスクールガードの方がいない時期があり、登下校が心配に感じることがありました。 • 絵見堂信号の交通量、特に朝の時間帯に急である車が見られるため、リスクがあると考えられます。できる限りスクールガードの方へのご協力をしていただきたいです。 • 絵見堂交差点はスクールガードさんがいないので、危ないかなと思います。 • 通学路に横断歩道があるがスクールガードの方は居らず、押しボタン式でとても危険(信号無視の車がとても多い)な為、特に低学年は必ず保護者が見守らないといけない為。 • スクールバスのためだと思いますが、校区パトロールやスクールガードの協力をいただいているという実感がないから • 毎朝、東門にはよく先生方が立って子どもたちに挨拶をされていると聞きます。ぜひ西門でもお願いします。 • 雪の日などの農道、通学路の雪かきなど保護者だけでやるのは無理がある。ある程度みんなが通る農道は機械など導入するか送り迎えて登下校するなど促してほしい。 • 1,2年下校はどうかと思います。班の家が離れていけばひとりになるリスクが高い。 • 集団下校でも高学年の子とバラバラで、1年生だけで帰ってくることが多い

- ★北東小学校は学区が広い為、通学状況も歩き、スクールバス、お迎え・送り、児童館利用など、様々です。学校では、教職員に地区担当を割り当て、一緒に歩いて危険箇所点検や歩き方の指導、下校時の安全を啓蒙する声かけ、地区ごとの下校時の指導などを行っています。児童の登下校について心配事がある場合は、地区担当にご相談ください。共に解決の方向を探っていきたくと思っています。
- ★通学路の危険箇所については、今後も毎年行われる通学路安全点検で出していただき、葦崎市に要望していきます。
- ★絵見堂の交差点につきましては、学校運営協議会や地区の区長さんなどを通してスクールボランティアの募集を行って来ておりますが、未だに人材が見つかりません。これまで学校長がその部分を務めてきましたが、難しい現状です。今後は、保護者の皆さんにもご協力をいただき、持続可能な児童を見守る体制をつくっていくことが求められます。

学習指導と生活指導（設問7～10）

◎いずれの項目も肯定的な回答が96%を超えており、学校の指導について評価をいただいていることがありがたい。その思いは、児童を家庭と学校とが共に育成していく大きな基盤となる。学校は、変容する学校教育や多様化する子供たちの実態を把握し、今後も個々の児童がそれぞれに成長できる学校教育の実現のために、日々の子供たちへの関りを大切にしていきたい。

問7 学校は、一人一人の児童理解に努め、個に応じた指導を工夫している。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に声をかけてくださり、指導してくださっていると感じています ・細やかなご指導に感謝しています。 ・担任の先生には、地味な息子にもよいところをたくさん見いだしていただきました。子どもが毎日楽しく登校できたのは、北東小の先生方のおかげです。 ・先生方が個性を伸ばしてくださるアドバイスや声かけがあり、子どもの自己肯定感が上がると感じています。 ・懇談で子どもの様子をしっかりと教えてもらっているから。 ・面談でも一人一人を見ている印象 ・自主学習ノートも一人一人丁寧に見て、個別懇談では具体的な話しが出来て成長を感じます。 ・新任の先生ですが、一人ひとりをしっかりとみてくれていて、個々に合った対応をしてくれてありがたく思っています。 ・様々な性格や特性を持つ子ども達がいる中で、ご尽力いただき感謝しております。個に応じた指導がいかにお大変で、時間を要するのかを考えると先生の人数が足りていないように感じますが、いかがでしょうか。 ・担任の先生が子どものことをよく理解してくださり、個別懇談の際に具体的にどのような対応をしていただけるか話してくださるから ・性格的なことも考慮してその子に必要な対応をしてくださると思うから
B	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の先生方のご尽力には大変感謝しておりますが、集団指導が前提のシステムの中で、且つ限られた人員では個に応じた指導は難しいのではないかと思います。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい先生方が、一人一人、同じ熱量で対応するのは大変だと思うからです。 ・特別個に応じた指導を工夫しているとは思わない為。 ・学校は、それを担任の指導力にどれだけ掘り下げているのか・・・先生によって、ばらつきが凄いです。 ・やはり集団なので、ひとりひとり細かくまでは難しいと思います。 ・子どものことをしっかりと見ていない気がしている。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が劣っていても個別では教えられないから ・子供から、授業が簡単過ぎてつまらないとよく聞くから

★現在、校内研究会で「子供主体の授業」の構築をテーマに研究に取り組んでいます。また、全職員で全校児童を見守ることを意識し、それぞれの立場・分掌から、専門性を生かし、チームとなって児童理解に取り組んでいます。すべてを見取ることは難しいことかもしれませんが、私たち教員はそれを決めてあきらめず日々努力してまいります。心配事がありましたら共に考えていきますので、担任や各分掌職員にご相談ください。

問8 学校は、基礎学力が身につくように、さまざまな工夫をして指導している。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年は基礎の基礎になる部分を教えてくれていると思うのですが、うちの子はなかなかスムーズには習得できず苦戦しながらも頑張っているなどと思っています。学校では『漢字フェスティバル』『修行カード』などちょっとゲームみたいに楽しめる要素を入れてがんばる気持ちに火をつけてくれています。おかげさまで諦めずに取り組めております。ありがとうございます。 ・わかりやすく丁寧に指導してくださっています ・きめ細やかな学習指導で、基礎基本の学力をしっかりとつけていただいております。採点の労を厭わず、本当にたくさんのプリントやワークに取り組ませていただいているからだだと思います。理科の土屋先生にプログラミング学習をしていただき、プログラミングで電気がついたことを喜んで報告してくれました。 ・毎日の宿題や漢字プリントなど、反復が必要なことなどよくわかってらっしゃるので、多忙な業務の合間に用意してくれていると感謝しています。 ・楽しく話している様子から感じる ・先生が学習する内容とからめたエピソードを話してくれるので記憶に残りやすいようです ・授業中でも声をかけてくださったり、自主学の添削もしていただいているから
B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の教材研究に充てる時間をもっと取れるようにしていただければ、授業参観がより楽しみになるかと思います。 ・授業（一斉指導）の様々な工夫はされていると思いますが、その結果の理解度や定着度の違いに個別に対応されることは、人員的にも難しいのだらうと思います。ただ、宿題の量や内容にはもう少し個別の配慮ができないでしょうか？例えば、学年指定の漢字ノートのマスより小さい字を書く A4 サイズの漢字プリントの宿題が（おそらく 50 問テストの前だけ）大量に出されることは、漢字が苦手な児童にとっては辛いと思います。プリントのサイズや量を調整していただき、普段から少しずつ取り組む中で、できていないものができるようになるまで見ていただくと大変ありがたいです。一時的に出される多すぎるプリント学習は、プリントをこなすことばかりが目的になり、できていないところへの見直し疎かになり、できるようになるにはどうすればいいか自分で考える余裕もなくなることが懸念されます。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の学力の差もあるが、家庭学習でカバーしなければならないことが多いと感じる。 ・暗記教育をさせていると感じます。確かに基礎学力はつくと思いますが自ら学びたいと思ったり楽しいと思えるような、内なる動機に呼びかける教育ではないと思います。 ・1年生は学校の基本なので宿題の直しなど、細くしてもよいと思う。やり過ぎはよくないが… ・工夫をして指導してくださっている様子はこちらからは分かりかねます。 ・しっかりと丁寧に漢字等教えてほしい。 ・具体的な工夫がみえないため ・学力が低いから

★学習面では、特に算数の授業において学習支援員を配置し、担任と二人体制できめ細かな支援ができるよう努めています。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図り、一人一人の資質能力を高める研究を続けています。今後も教員一人一人のよさや強みを生かした授業づくりを進めるとともに、校内研究を通して個々の教員が自分の資質能力を高め、児童により良い教育ができるよう努力してまいります。

問9 学校は、家庭と連携し、子どもの学習習慣の定着に努めている。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でしてほしいことなどを、資料や通信等でお知らせいただいているので、連携して子供の課題を意識できています。 ・毎日、少なくとも国語と算数の宿題を出していただき、大変感謝しています。 ・家庭の様子を訊ねてくれて、それを参考に子どもに接してくれる。 ・適量の宿題を出していただいております。また自主学習も促していただき、ようやく苦手な漢字も少しずつできるようになってきました。ありがとうございます。 ・見逃しがちな漢字の間違いをきちんと直してくれたり、宿題の日記にコメントをくれたり、学習が楽しくなるハンコを押してくれたり楽しいので、親も楽しませてもらっています。なので、どこがつまづきポイントか、早く気づくことが出来ます。 ・欲を言えばですが、「あのね」の宿題をもう少し出していただきたいです。宿題で先生に読んでもらえると思うとだ文章を考えたり書いたりモチベーションになるようなのですが、家族相手だと文章を書く練習がなかなか進まないのが悩ましいです。 ・うちどくぶっくなど ・バランスの良い宿題 ・繰り返し復習できるようにプリントなどの宿題を考えてくださっているとと思います ・子どもが頑張っていることを本人にも家族にも伝えてくれるから
B	<ul style="list-style-type: none"> ・我が子らは採点されたテストをまったく提出してきません。出すよう言っても出しません。まだ返却されてない、などとホラもふきますので、学年通信などに記載してもらえると追及しやすいです。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題などである程度の学習習慣は定着すると思うが、学校と家庭の連携という具体的なイメージには繋がっていない。 ・宿題を見るだけになっていますが、これは連携が取れていますか？ ・家庭と連携している実感がない。 ・具体的に何が学習習慣の定着のための施策なのかがわからないため。 ・定着感は感じませんでした。 ・家庭にお願いすることが多すぎると思います。 ・連携していないから

★学習習慣を身に付けることは、児童の自律心を育て、知識を確実に伸ばし、人生を自立して生きていくために大切なことです。学年・学級ごとに実態に合った宿題を工夫していきますので、ご家庭での見守りや声掛けをお願いします。また、お気づきの点につきましては、声をあげただけだとありがたいです。

問10 学校は、基本的な生活習慣（あいさつをする・きまりを守る・時間を守る・忘れ物に気を付ける など）が身につくように、家庭と連携し指導している。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・1人で支度をし、必要なものを事前に教えてくれるようになり成長を感じています。 ・時間割や週案などを毎週出しているの、子供が予定を見ながら忘れ物がないよう準備ができるよう資料を出してもらっていると感じます ・元気に挨拶をしてくれると先生に言われたよ、と子どもが先生に褒めてもらったりするようで、毎日きちんとしようという気持ちになるそうです。 ・折に触れて細かく指導いただいていると思うから ・学校だけでなく家庭のしつけも重要なので、学校はよくやってくれていると思います
C	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携している実感がない。

★基本的な生活習慣を身に付けるためには、家庭と学校とで足並みのそろった指導・支援をすることが大切です。学校では「学校のきまり」を全職員で共通理解し、児童に働きかけています。ぜひ、ご家庭でもそれらをご理解いただき、基本的な生活習慣が児童に身につくようお願いします。

学校での生活（設問11）

◎高い肯定的な回答をいただいております、ありがたい。年度当初に「いじめ基本計画」や「学校のきまり」などについて全職員で確認しあい、問題が起きた時には職員間で情報共有して児童に向き合ってきた。今後も、本校なりのルールを指導するとともに、「心の教育」や道徳教育、その他心の成長が図れる場を捉えて、より良いコミュニケーション能力の素地を育てていくことが大切である。

問 11 学校は命の大切さや思いやりルールなどについて指導し子供が仲良く生活できるように取り組んでいる。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・オオムラサキセンターの方を招いての講演会、どんなお話をしていただけるのか楽しみです。 ・些細なことにも気にかけてくださっているので、安心しています。 ・車椅子生活だった 2 週間、多くの先生方、お友達に助けていただいたり、温かい声かけをいただいたりしました。お友達の声かけの多さに驚くのと同時に、そのような仲間づくりをしてくださった夏川先生に感謝の気持ちでいっぱいです。 ・小さなことで相談に躊躇するようなことも、きちんと耳を傾けて聞いてくださり、すぐに解決をしてくださいます。おかげで、楽しい学校生活を送れています。 ・トラブルなどがあったとき、丁寧に対応してくださっていると思います ・何かがあった時は近くにいる先生がすぐ対応していたと子どもから聞くから
C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でも指導はしていると思うが、聞いていて不快になるような言葉遣いをする子供が多い。 ・子どもの話を聞いていると、ちゃんと子どもの話を聞いてくれないと感じる時が多い先生がいる。 ・やはり、問題が起こってしまうので難しいと思います。 ・取り組みの内容がわからないため

★学校では、いじめのない学校にするために、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、未然防止のための児童の見守り、安心感のある学級づくり、早期対応のための「いじめアンケート」の実施などを行っています。また、学担はクラスの児童との信頼感を築き、安心感のある学級づくりに努力しています。言葉遣いの問題や小さな課題の見逃し事案などが起きないように、気を引き締めていきます。

学校と地域・家庭（設問 12～14）

◎家庭との連携は、学校が最も大切にしていることの一つである。より良い子供の育成は、家庭と学校が子どもを真ん中において共通理解を図り、共に子供を支援していくことが大前提となる。学校としては、これからも学校の基本的方針や学校での児童の生活の様子をこまめに適切に発信し、また保護者の悩みや心配にも寄り添い、パートナーとしての信頼関係を気づいていきたい。

問 12 学校は、たよりや北東小ブログで保護者や地域に情報を提供している。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁にお便りなどを出してくださっているのでありがたいです ・学校での様子がわかり、ありがたいです。 ・ブログも見ています。 ・ブログ毎回楽しみにしています。主に親子で給食の話します。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインなどの方がキャッチしやすい印象 ・ブログ…給食の話題が多いように思います、学校であった小さな良かったこと、子どもたちに流行っている遊びなど具体的・なエピソードが載っていると学校の様子がよりわかると思います ・おたよりの写真が鮮明ではないため、少しわかりにくいときもありました。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの情報が少ないと感じる
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログが活用されていない様に感じる

★ブログに関しては、映像上の問題もあり、なかなかアップできない部分もありました。今後新しいプロバイダに変更されます。それを機に、職員みんなで使い方を学び、更新できるように努力していきます。

問 13 学校は、授業参観やPTA 活動など、保護者が参加する行事が計画的に行われている。

A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に授業参観などを計画してくださっていると感じます。 ・毎回楽しみにしています。 ・PTA などの参加は緊張もありましたが、先生方や保護者の方々と顔を合わす機会があると直接お話しすることはそんなになくとも親しみや安心感が生まれて良いものだなと思いました。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観など以外に、協力させていただけることや先生のお手伝いになることがあったらお声がけしてほしいです ・運動会にも保護者が参加したいです。子どもたちも喜ぶと思います。 ・合唱コンクールや音楽会もあるといいなと思います。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観など定期的に行われていますが PTA 活動はしていても大した発信もなく役員をしていなければ何の為に何の活動しているかが不明。

★授業参観や親子学習には、たくさんの方が出席いただきありがとうございます。これからは児童の様々な姿や表情を見ただけのよう、実施していきます。
★本年度は、日本 PTA 協会から優秀 PTA ということで表彰していただきました。PTA 活動につきましては、役員の方を中心に本当に頑張っています。今後、ブログなどで PTA 活動もお伝えできるとよいと思います。なお、すべての保護者の皆さんが本校の PTA 会員ですから、お気づきのことは積極的に声を上げていただけたらありがたいです。

問 14 学校は、子どもの悩みや保護者の願いなどの相談にのってくれる。

A	<ul style="list-style-type: none">• 懇談や、連絡帳などで気になることは対応していただいています。• 子どもの体調不良時には丁寧に観察、対応して下さって、それをご連絡頂き良かったと思っています。• 先生もお忙しい中、息子の様子を見て、都度、連絡をくれたり、相談にのってくれたりとても有難いです。• 担任の先生はとても丁寧に話を聞いてくださりありがとうございます。• 子どもの様子を注意深く観察くださり、先生から声をかけて、思いを確認いただき、ありがたく思っております。とてもよくしてくださり、感謝しています。• 担任の先生には相談にのっていただき、子供の情報共有をしています。• 心配なことについて、時間を作ってお話する機会を設けていただいております。いつもありがとうございます。• 何が子どもにとっていい方法なのかを一緒に考えてくださるから。• スクールカウンセラーに関して、相性がありますし、大変わがままかもしれませんが複数人いてもいいような気がします。• 特に担任の先生が子どもにも保護者にも真剣に向き合ってくださいます
C	<ul style="list-style-type: none">• そういった機会がまだないのでわかりません。• 新日課の開始は、保護者の願いとは異なると思います。帰る時間が早くなり、働いている家庭は家で子供が待機する時間が・伸びるだけで、まだ自分で学習する力が付いていないので、ゲームや YouTube の時間が伸びるだけだと思います。授業の時間も休み時間も短くなるでしょうし、お友達と過ごす時間も減り、子供に良い影響はないと思います。• 保護者からは要望はありませんが、子供は、先生に関する不満を色々抱いているようです
D	<ul style="list-style-type: none">• 悩みや意見を伝えても良くなったことがないから。

★保護者と教師が「子供のよりよい成長を目指して」足並みをそろえて支援していくことこそが、子どものより良い成長につながります。これからも、学校は児童や保護者の考えや意見に真摯に耳を傾け、より良い改善の方向をともに模索し、進んでいきたいと考えています。子供たちの声で気になることは、ぜひ学校に伝えてください。子どもを真ん中に、学校と保護者はパートナーでありたいと考えています。

その他

肯定的な意見

あたたかい言葉と感想をいただきました。ありがとうございます。このようなお気持ちと共に、子供たちのより良い成長を保護者の皆様と共に支えていける北東の教員という立場をありがたく感じます。学校の取り組みをこれからも前向きに進めてまいります。

- 「カッターの使い方」を授業参観に当てて親とやったのはとても良かったのではないかと思います。刃物を使わない今の子ども相手に先生1人ではとても難しい授業だと思いました。大人がいっぱいいる理想的な環境でのカッターの授業だったと思います。後日子どもの作品を見てカッターさばきに感心しました。安全に使えるようになって良かったです。
- 担任の先生が素晴らしいです。子供への気配りはもちろん、保護者の尊重も忘れず丁寧で腰が低く児童に対して親身になってくれています。そういう先生がもっともっと増えてくれるとよりよい学校づくりが出来ると思います！娘は担任の先生はもちろん学校が大好きです。とても有難い環境を与えて頂いています。感謝致します。
- いつもありがとうございます。特に何の不満もないです。
- いつもありがとうございます。北東小の子供たちが伸びやかな心に成長しているのは先生方の日頃の努力によるものです。
- いつも子供たちのことを考えてくださり、本当にありがとうございます。激務でお時間がない中、快く相談にのってくださったり、他愛もない話を聞いてくださったりと私も頼りにしております。先生自身の時間を大切にできるよう、そしてその休息で得たエネルギーがまた子どもたちに活かされるよう、働き方が少しでも改善されるといいなと思います。残り少ない小学校生活ではありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。
- いつも遅くまで職員室の電気がついており、先生方が子どもたちのために一生懸命仕事をしてくださっていることに頭の下がる思いです。いつも本当にありがとうございます。
- お忙しい中、いつも本当にありがとうございます。
- すずらん学級、交流級ともに先生方にはいつもお世話になっており、本当にありがとうございます。子どもの様子について、何か気になることがありお伝えした際にはすぐにご対応いただいたり、ご助言をいただき、本当に感謝しております。今後ともよろしくお願ひいたします。
- 下校が早くなり、子どもが喜んでいきます。
- 回答が期限を過ぎてしまい、大変申し訳ございません。いつもご指導ありがとうございます。先生方のおかげで毎日楽しく学校生活を送ることができています。毎朝通勤で学校前を通るのですが、校長先生が通る車にも頭を下げられていて、とても感銘を受けています。私も毎朝温かい気持ちになります！今後ともよろしくお願ひ致します。
- 楽しく安全に、一度も登校を嫌がることなく通わせていただけたのは先生方のおかげです、ありがとうございます／新日課時程は子どもが早く帰宅できて家で時間が増えるのでありがたいです。
- 今年はプールの時間がたくさんとれたようでとても喜んでおりました。安全管理など大変かと思いますが、夏休みのプール登校がなかったり、近隣にプール施設が少ないことから、プールの時間は貴重なものでとても感謝しております。
- 子どもたちのために熱心なご指導いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。
- 子供が学校へ行きたがらない時期がありましたが、表情などから矢崎先生が迅速に、かつ子供が気が付かないほどにさり気なく対応いただいていたことを知りました。まだこのくらいなら…と様子を見ている段階すらも察知していただける細やかな配慮に、感謝しかありません。古屋先生にも、いつも粘り強く指導いただき、お2人には深く感謝申し上げます。下の子は、なかなか指示を理解することが難しく、家庭でも何が正解かわからなくなっている中、学校の様子や伝え方を含めて古屋先生から助言いただきました。保護者側の世話までかけてしまっている点、申し訳なくもありますが、先生方のご対応はとても心強く、とても感謝しています！
- 子供に合わせて柔軟に対応して頂いて、子供も先生方を信頼している様子です。いつもありがとうございます。
- 支援学級に所属しています。毎日丁寧に連絡帳を通してやりとりをさせて頂いているので、子どもの不安なことにも迅速に対応して頂き安心して過ごすことができています。今回のアンケートは学校全体としての評価とのことなので、交流学級でのことはあまり把握できていないので客観的に判断ができず、曖昧な回答になってしまいました。
- 授業参観の時にずっと話をしている保護者が必ずいます。発言している子どもの声も聞こえないし、授業の妨げになっていると思います。見回りの先生が注意してくれるとありがたいです。
- 授業内容などは、子供の自主性を育む良い教育方針だと思います。いつも温かく見守ってくださる先生方本当にありがとうございます。
- 担任の先生を信頼して楽しい学校生活が送れていることに心より感謝しています。
- 担任の先生方には、日頃より熱心に丁寧に子どもをみていただき、感謝申し上げます。
- 担任の先生方にはいつも我が子らの特性をよく把握して指導されていると感じます。また元担任の先生など、たまに行き合うと声かけくださり、先生方みんなに見て頂いてる思いで大変感謝しております。
- 日々の先生方のご指導に感謝申し上げます。これからも、よろしくお願ひいたします。
- 日々先生方にはご指導いただき感謝しております。校内の学校の授業だけではなく、課外授業などがこのまま継続的に行われることを願っております。小学校の思い出は大人になった今も記憶にあり、このような経験を子供達にもしてもらいたいと思っております。
- いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。
- 縦割りでの活動によって色々と学ぶことや楽しいことがあるようなので、縦割り活動の機会を今後も設けていただけると嬉しいです。

改善を目指す意見

たくさんの改善に向けたご意見をありがとうございました。学校としましては、保護者と共に子供たちを支える学校をつくるために、これらのご意見を真摯に受け取り、検討させていただきます。これからも、なにより子供たちのために足並みをそろえた児童支援をお願いしたいと考えております。

～安心メールについて～

▼学校からの安心メールは、緊急連絡以外にも連絡配信（お便りの配信など緊急ではないもの）がありますが、お便りの連絡配信は配信時間をある程度決めて欲しいと思います。手の空いた時間に配信されているように思いますが、安心メールが届く度に、緊急連絡かもしれない、と仕事中でもスマホを開く必要があります。オオカミ少年状態なので、ご検討いただくとありがたいです。

▼あんしんメールの活用は良いことですが、文章で済むものはわざわざPDFにせず、メール本文に記載して完結してもらえると、PDFを開ける手間が省けてなおありがたいです

→緊急のものにつきましては随時の送信をご理解ください。その他のものの送信時間や内容につきましては、できる範囲で検討します。

～視力検査について～

▼細かいことなのですが、学校での視力検査の結果が悪く、眼科を受診して大丈夫と言われるということが何回かありました。他のお家でも何人か同じようなことを聞きました。

▼おそらく視力検査のときに検査しない方の目を器具で押さえすぎてしまって、押さえた後の目を検査するときにぼやけてしまい、検査結果が悪くなってしまうのではないかと。検査のときに力を入れて押さえないように少し子どもたちに声をかけていただいた方がいいのではないかと思います。

→ご指摘いただいた点につきましては、学校でも懸念し、一人一人に時間をかけて検査しております。今後も注意してまいります。すべてについて正確にいかないことをご理解ください。

～上履きについて～

▼子ども3人とも、友だちや先生にめぐまれ毎日楽しく学校に通っています。いつもありがとうございます。要望ですが、上履きの指定をなくして貰いたいです。理由としては汚れが落ちにくく、破れやすいこと、他の上履きと比べ値段が高いことです。指定である必要は全くないと思いますのでよろしく申し上げます。

▼指定の上履きではなく、自由にして頂きたい。成長段階の子どもに合った必要なものを親がそろえてあげたい。

→検討していきます。

～学校行事について～

▼4学年のスケート教室は今後も続けたいと思います。もし人手が足りないのなら何年か前のように保護者のボランティアを使っても良いと思います。

▼6年生のマーチングがなくなったのは悲しかったです。

▼いつもお世話になっております 下校時間が早い日が多すぎると思います 保育園などとは違って、子ども達は一斉に下校するのだから、短縮にしないで欲しいです。北教研をはじめ、会議や校内研究、事務処理など、子供が1人になる時間が多く心配です。

▼運動会も縮小し、スキー教室もなくし、12月から授業の縮小。先生の為の学校になってきていると思うちはすぐに卒業していくからもっと酷くなっていく小学校を見ずによかったと安心しています。ただ勉強すればいいなら塾でいいし学校だから出来ること集団での思い出こそに価値があると思います。人それぞれですが子供には沢山の経験をして欲しいただそれだけです。

▼今年は運動会の練習の頃、昨年ほど暑くなかったが、昨年度はかわいそうなほど暑かった。他小学校でも春に行ったり時期をずらすところが増えているので、思案していただくと幸いです。

▼体力低下が問題視されてますが、体力作りのためマラソンの授業や、マラソン大会は実施されないのですか？また、運動会の種目を増やして欲しいです。県外から応援に来てくれる両親に、今の出場種目だけだと申し訳なくて。子どもたちがもっと活躍してる姿を見せてあげたいです。あと、学校で行うからこそ意味のあるクラブ活動や課外活動による豊かな心の育みにもっと時間をかけることは難しいのでしょうか。先生方の負担が増えないように、外部講師に委託するなど活用できると思います。1人1人と向き合うための教育改革をされてますが、子どもたちの学校行事や学校にいる時間が減るばかりで、その代替となるものが実施されてない現状。それって本当に子どもたちの将来を考えているのかなと疑問に思います。

→学校行事については、様々なご意見がありますが、学校では、これまでも・これからも、「これからの学校の在り方」と「児童にとって本当に必要なもの」を熟議し、実施したいと考えています。（また、市教委からのご指導をいただくものもあります。）決して学校や教師の都合ではないことをご理解ください。

～授業予定・持ち物などについて～

○こまめに学年だよりが発行され、学校での生活や学習の様子がわかるのはありがたいです。学習目的や提出物などについても詳細があるので参考になります。ただ、時折記載されている内容と実際の学習行程等に違いがあり、戸惑っています。家庭で子供と一緒に取り組まなくてはならない宿題も、子供の話と食い違いがあったり、内容が変更になっていたりするものがありました。クラスごと学習の進行スピードや内容に多少のズレがでるのは承知していますが、学年だより配布日に子供と内容を一緒に確認しても、子供の反応が曖昧なことが多いです。隣クラスの内容に合わせたお便りのかな？と思う事もあります。進み具合に大きな差があるのか、記載されていた内容がだいぶ遅れた形になって宿題に出たり、記載予定日に持ち帰らない物があったりということがありました。子供自身の理解と確認不足もあるかと思いますが、ある程度は両クラスで学習や記載内容に大きな違いのないものであってほしいと感じます。

→学習進度や学習内につきましては、学年ごとに足並みをそろえて実施しておりますが、学級の実態もありズレも生じます。その結果としてお便りの内容に食い違いが生じてしまう場合には、お便り内で説明する、児童に事前に説明し家庭に伝えるようにするなどの工夫をしていきます。今後ご心配等ありましたら、担任と情報を共有してください。

～問の内容と関連することについて～

- ▼高学年には性的マイノリティ、体の変化、性的同意、SNSの問題などに関する内容を、簡単な話からで良いので外部講師の方を招いてお話を聞く機会があっても良いのではないかと思います。→問3
- ▼トイレが老朽化しているため、嫌がり、学校でトイレへ行くのを我慢しています。仕方がないことだとは思いますが、行きやすいトイレになると良いなと思います。→問5
- ▼ブログが日々の給食の情報と4年生の様子のみで残念です。他学年の様子も公開してほしいです。→問12

～家庭での準備ご協力について～

- ▼家庭でやることや準備するものが多すぎると思います。共働きの方が多く、センターを使っている子どもも多いなかで、家庭の負担が多すぎると思います。もう少し減らしていけるように検討してほしいです。
→現代の教育が、「家庭や地域とともにある学校」を目指しており、家庭とともに行っていく内容が特に低学年ほど多くなっています。決して過剰に求めているわけではないことをご理解ください。厳しい内容がありましたら、担任にご相談ください。共に解決点を探っていきたいと思います。

～PTAの組織について～

- ▼地区PTAのあり方を考えるべきだと思いました。時代が変わってきているので今までのやり方ではなく考えていくべき所があると思います。手紙配布など。
→家庭数が減少もあり、変わっていかざるを得ない状況もあります。昨年度は組織の改編を行いました。今後も組織やその内容について、PTA会員の皆様のご意見をもとに工夫をしていくことが大事だと思います。

～持ち物について～

- ・登下校の荷物が重く、身体への負担が大きいため工夫できる点があればご検討をお願いします。
→現在、教科書やワーク類などの学校保管を実施しておりますが、iPadや図書室の本の持ち帰りがあると重くなるかもしれません。学年や児童の実態に応じて工夫していきたいと考えますが、ご心配な時はご相談いただければ、共により良い方法を考えていきます。

～本アンケートについて～

- ・名前は必須やC.Dは必ずはない方が良いのかと思いました。必ず書かないといけないと思うと、回答記入に時間がかかり、C.Dを選ぶのを悩んでしまう気がしました。
→本アンケートは、学校をより良い方向に進めていくためのものです。改善すべきことは真摯に対応していきますので、今後も改善点のコメントをいただきたいと考えます。

▼センター利用が難しい学年の下校時間を早めるのはいかがなものか。家で、ひとりで過ごす時間が増える。

▼「運動会のマーチング」「スキー教室」の廃止、根拠が不明確です。一方的な学校の決定により、6年生へのあこがれ・6年生の思い出を奪ってしまったのは非常に残念でなりません。誰が得をして、誰が損をしているのでしょうか？新日課の試験スタート。児童には自由な時間を与え、教職員には教育の質を向上と教員が自身の人間性を高めるための時間が与えられ、保護者からは早々に下校してくるこどもの世話のため、働く時間を奪う。誰が得をして、誰が損をしているのでしょうか？先生方の過酷な労働状況には改善も必要だと誰もが思うところではありますが、もしこれらのような事が教職員の働き方改革の一環であるとするならば、いささか首を傾げざるを得ません。根本が違うような気がします。学校経営方針のV-6《業務の効率化》校務DXの推進を行い、効率化、負担軽減、できましたか？教材研究等の教師が子どもに向き合うための時間の確保、新日課を始めるにあたりできますか？何か矛盾を感じます。日々、丁寧に接して下さる先生方へは感謝しかございません。以上は、学校行への意見であり、個別の先生方へのものではないことを申し添えます。

→おそらく上記のように思いをお持ちの保護者の方もいらっしゃると思います。

今、学校教育は模索の時代を迎えています。それは、児童に身につけさせたい力が、これまでの知識・技能だけでなく、未来を生き抜く力（思考力・判断力・表現力・課題解決力・コミュニケーション力…）に変わってきているからです。本校でも、この一年間、校内研究会で全職員が一丸となって「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による主体的・対話的で深い学びの実現」を目指して研究を進めております。ただ、それらはまだまだ研究途上であり、保護者の皆様にとって満足いくものではないかもしれません。だからこそ、教員は研究も学びも続けていかなければならないし、私たち職員はそのための働き方改革だと強く認識しております。決して自分たちのためのものではなく、子供たちのための働き方改革であることをご理解いただけるとありがたいです。

参考にしたいご意見

- 北杜市で行っているボランティアでの放課後の学習会や、わくわく活動などの取り組みが韮崎市でも行われたら良いなと思いました。